

第一編 衆議院議員選舉法施行令

第二十八條 衆議院議員選舉法第六十二條ニ依リ選舉長ニ於テ開票期日ヲ定メタルトキハ地方

長官ハ更ニ同法第五十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 選舉人名簿、投票簿、投票ノ用紙及封筒並投票函ノ調製ニ要スル費用ハ府縣費及北

海道地方費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十條 選舉長、開票管理者又ハ投票管理者ニ於テ選舉事務ノ爲要スル費用及選舉會場、開

票所又ハ投票所ニ要スル費用ハ當該行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十一條 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ町村費ヲ以テ支辨スヘキ費

用ハ之ヲ各町村ニ平分スヘシ

第三十二條 投票立會人、開票立會人及選舉立會人ニハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ職務ノ爲要ス

ル費用ヲ給スルコトヲ得

前項ノ費用ハ府縣費及北海道地方費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第三十三條 衆議院議員選舉法ニ於ケル直接國稅ノ種類左ノ如シ

一 地租

二 所得稅 所得稅法第三條第一項第二種ノ所得中
無記名債券ノ所得ニ係ル所得稅ヲ除ク

三 營業稅

四 賣藥營業稅(明治四十四年追加)

第三十四條 衆議院議員選舉法第一條ノ別表ニ於テ獨立ノ選舉區ト爲シタルモノヲ除クノ外市

ハ從前屬シタル選舉區ニ包含スルモノトス

第三十五條 郡市ノ區域ニ屬セサル島嶼ニ於テハ開票區ハ島ノ區域ニ依ル

第三十六條 開票管理者、投票管理者及其ノ代理者故障アルトキハ上級官廳ハ臨時ニ官吏又ハ吏

員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第三十七條 衆議院議員選舉法第三條及第六條ノ規定ハ本令ニ之ヲ準用ス
第三十八條 北海道ノ札幌區、函館區及小樽區ニ於テハ衆議院議員選舉法其ノ他之ニ關スル法令
中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

○會計法(明治二十二年二月法律第四號○明治三十五年
八月法律第四十七號同第四十八號ヲ以テ改正)

第一章 總則

第一條 政府ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

一會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關ル事務ハ翌年度十一月三十日マテニ悉皆完結スヘシ

第二條 租稅及其ノ他一切ノ收納ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トシ歳入歳出ハ總豫算ニ編入ス

第三條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得

第四條 各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノ、外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス

第二章 豫算

第五條 歳入歳出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ

必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ツク經費ニ不足ヲ生シタル場合ノ外追加豫算ヲ

提出スルコトヲ得ス(明治三十五年追加)

第六條 歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ

總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

第一 各省ノ豫定經費要求書但シ各項中各目ノ明細ヲ記入スヘシ
第二 其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ歳入歳出現計書

第七條 豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ

第一豫備金
第二豫備金

第一豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノトス

第二豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルモノトス

第八條 豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第九條 毎年度大藏省證券發行ノ最高額ハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ定ム

第三章 收入

第十條 租稅及其ノ他ノ歳入ハ法律命令ノ規程ニ從ヒ之ヲ徵收スヘシ

法律命令ニ依リ當該官吏ノ資格アル者ニ非サレハ租稅ヲ徵收シ又ハ其ノ他ノ歳入ヲ收納スルコトヲ得ス

第四章 支出

第十一條 毎會計年度ニ於テ政府ノ經費ニ充ツル所ノ定額ハ其ノ年度ノ歳入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

國務大臣ハ其ノ所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十三條 國務大臣ハ其ノ所管定額ヲ使用スル爲ニ國庫ニ向ヒテ仕拂命令ヲ發スヘシ但シ別ニ定ムル所ノ規程ニ從ヒ他ノ官吏ニ委任シテ仕拂命令ヲ發セシムルコトヲ得

第十四條 國庫ハ法律命令ニ反スル仕拂命令ニ對シテ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 國務大臣ハ政府ニ對シ正當ナル債主若ハ其ノ代理人ノ爲ニスルニ非サレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

左ノ諸項ノ經費ニ限リ國務大臣ハ主任ノ官吏ニ委任シ又ハ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金支拂ヲ爲サシムル爲ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得

第一 國債ノ元利拂

第二 軍隊軍艦及官船ニ屬スル經費

第三 在外各廳ノ經費

第四 前項ノ外總テ外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第五 運輸通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費

第六 廳中常用雜費ニシテ一箇年ノ總費額千圓ニ滿タサルモノ(明治三十五年改正)

第七 場所ノ一定セサル事務所ノ經費

第八 各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費但シ一主任官ニ付六千圓マテヲ限ル(明治三十五年改正)

第五章 決算

第十六條 會計検査院ノ検査ヲ經テ政府ヨリ帝國議會ニ提出スル總決算ハ總豫算ト同一ノ様式ヲ用井左ノ事項ノ計算ヲ明記スヘシ

歳入ノ部

第一編 會計法

第一編 會計法

歳入豫算額

調定済歳入額

收入済歳入額

收入未済歳入額

歳出ノ部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

仕拂命令済歳出額

翌年度繰越額

第十七條 前條ノ總決算ニハ會計検査院ノ検査報告ト俱ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

第一 各省決算報告書

第二 國債計算書

第三 特別會計計算書

第六章 期滿免除

第十八條 政府ノ負債ニシテ其ノ仕拂フヘキ年度經過後滿五箇年内ニ債主ヨリ支出ノ請求若ハ仕拂ノ請求ヲ爲サルモノハ期滿免除トシテ政府ハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各々其ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五箇年内ニ上納ノ告知ヲ受ケサルモノハ其ノ義務ヲ免ル、モノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各々其ノ定ムル所ニ依ル

第七章 歳計剩餘定額繰越豫算外收入及定額戻入

第二十條 各年度ニ於テ歳計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第二十一條 豫算ニ於テ特ニ明記シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲ニ事業ヲ遅延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十二條 數年ヲ期シテ竣功スヘキ工事製造及其ノ他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ竣功年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

第二十三條 誤拂過渡トナリタル金額ノ返納出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入及其ノ他一切豫算外ノ收入ハ總テ現年度ノ歳入ニ組入ルヘシ但シ法律勅令ニ依リ前金渡概算渡繰替拂ヲ爲シタル場合ニ於ケル返納金ハ各々之ヲ仕拂ヒタル經費ノ定額ニ戻入ル、コトヲ得

第八章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第一 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ヲ買入又ハ借入ル、トキ

第二 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ

第三 非常急遽ノ際工事又ハ物品ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ

第四 特殊ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製造品及機械ヲ買入ル、トキ

第一編 會計法

- 第六 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其ノ位地又ハ構造等ニ限アル場合
- 第七 千圓ヲ超エサル工事又ハ物品ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ(明治三十五年改正)
- 第八 見積價格四百圓ヲ超エサル動産ヲ賣拂フトキ(明治三十五年改正)
- 第九 軍艦ヲ買入ル、トキ
- 第十 軍馬ヲ買入ル、トキ
- 第十一 試験ノ爲ニ工作製造ヲ命シ又ハ物品ヲ買入ル、トキ
- 第十二 慈惠ノ爲ニ設立セル教育所ノ貧民ヲ傭役シ及其ノ生産又ハ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ
- 第十三 囚徒ヲ傭役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ及政府ノ設立ニ係ル農工業場ヨリ直接ニ其ノ生産又ハ製造物品ヲ買入ル、トキ
- 第十四 政府ノ設立シタル農工業場又ハ慈惠教育ニ係ル各所ノ生産製造物品及囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フトキ
- 第二十五條 軍艦兵器彈藥ヲ除ク外工事製造又ハ物件買入ノ爲ニ前金拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九章 出納官吏

- 第二十六條 政府ニ屬スル現金若ハ物品ノ出納ヲ掌ル所ノ官吏ハ其ノ現金若ハ物品ニ付一切ノ責任ヲ負ヒ會計検査院ノ検査判決ヲ受クヘシ
- 第二十七條 前條ノ官吏水火盜難又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ其ノ保管スル所ノ現金若ハ物品ヲ紛失毀損シタル場合ニ於テハ其ノ保管上避ケ得ヘカラサリシ事實ヲ會計検査院ニ證明シ責任解除ノ判決ヲ受クルニ非サレハ其ノ負擔ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス
- 第二十八條 現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ルニ付身元保證金ヲ納メシムルコトヲ要スルモノハ勅令

ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 仕拂命令ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十章 雜則

- 第三十條 特別ノ須要ニ因リ本法ニ準據シ難キモノアルトキハ特別會計ヲ設置スルコトヲ得
- 特別會計ヲ設置スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
- 第三十一條 政府ハ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命スルコトヲ得

第十一章 附則

- 第三十二條 本法ノ條項帝國議會ニ關涉セサルモノハ明治二十三年四月一日ヨリ施行シ其ノ關涉スルモノハ帝國議會開會ノ時ヨリ施行ス
- 決算ニ係ル條項ハ帝國議會ノ議定ヲ經タル年度ノ歳計ヨリ施行ス
- 第三十三條 本法ノ條項ト抵觸スル法令ハ各々其ノ條項施行ノ日ヨリ施行ス

○會計法補則(明治二十三年八月法律第五十七號)

- 第一條 明治二十三年度歳出豫算中左ノ費用ハ明治二十四年度ノ豫算ニ於テ憲法第六十七條ニ規定シタル大權ニ基ケル既定ノ歳出トス
 - 一 文武官ノ俸給及文官退官賜金
 - 二 陸海軍軍事費憲兵費屯田兵費
 - 三 賞勳年金及褒賞費
 - 四 外國條約及約束ニ依レル支出
 - 五 各廳ノ廳費及經常修繕費

第二條 帝國議會開會前ニ發布セラレタル法令ニ基ク左ノ費用ハ法律ノ結果ニ由ルノ歳出トス

- 一 帝國議會經費
 - 二 裁判所並會計検査院經費
 - 三 恩給扶助料罷役恤金及死傷手當
 - 四 徵兵費
 - 五 徵稅費 證券印紙切手類製造買戻押印費鑑札製造費所得稅調查委員手當市町村ニ交付スル徵稅費滯紮處分費差押物件買上代
 - 六 囚徒費
 - 七 遞信事業及航路標識費
 - 八 内外國難破船費
 - 九 沖繩縣及小笠原島地方費
 - 十 備荒儲蓄
 - 十一 北海道拂下土地買上代
 - 十二 恩賞及救助費
- 第三條 明治二十四年度歳出豫算ニ於テ左ノ費用ハ憲法第七十六條第二項ニ規定シタル政府歳出上ノ義務トス
- 一 神社費
 - 二 公債償還利子及拂手數料
 - 三 既ニ定マレル效力アル命令ニ依リ毎年各地方ニ付與スヘキ公共工事費補助及警察費聯帶支辨金
 - 四 沖繩縣諸祿
 - 五 既ニ定マレル效力アル命令ニ依リ航運鐵道製造殖産ノ會社及病院學校ニ付與スヘキ補助

又ハ利子保證

- 六 雇外國人ノ俸給恩給及手當
 - 七 法律上ノ賠償及訴訟費
 - 八 諸地戻金
 - 九 國庫金取扱費
 - 十 預金利子
 - 十一 既約アル地所家屋借料
- 第四條 明治二十三年度以前ノ歳出豫算ニ於テ數年ヲ期シタル事業ニシテ明治二十四年度ニ至ルマテ未タ竣工ニ至ラサルモノハ繼續費ノ例ニ依ル

○會計規則

明治二十二年五月勅令第六十號○明治二十六年十月勅令第百十號、全三十三號、今三十四年八月勅令第百二十七號、今三十五年八月勅令第百二十七號ヲ以テ改正削除

第一章 會計年度所屬區分、歳入歳出金出納

- 第一條 歳入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ據ル
 - 第一 納期ノ一定シタル收入ハ其納期末日ノ屬スル年度
 - 第二 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發スルモノハ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
 - 第三 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 第二條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ據ル
 - 第一 公債ノ元利賞勳年金恩給諸祿ノ類ハ仕拂期日ノ屬スル年度
 - 第二 諸拂戻缺損補填ハ其拂戻又ハ補填ノ決定ヲ達シタル日ノ屬スル年度
 - 第三 俸給手數料旅費ノ類ハ其支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度

第四 廳中雜費土木建築費其他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但土木建築費ノ如キ契約ノ數年ニ涉ルコトヲ得ヘキモノハ契約ニ據リ定メタル仕拂期日ヲ以テ區分スヘシ

第五 前各項ニ掲クル類別ニ入ラサル費用ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ヲ以テ年度ノ所屬ヲ定ムヘシ

第三條 毎年度所屬歳入歳出金ヲ金庫ニ於テ出納スルハ翌年度六月三十日限リトス

第二章 豫算

第一款 總豫算

第四條 大藏大臣ハ歳入ノ景況ヲ調査シ各省ノ豫定經費要求書ニ基キ歳入歳出總豫算ヲ調製スヘシ

總豫算ノ首ニハ歳計全體ニ關スル説明ヲ付スヘシ

第五條 歳入豫算ノ經常臨時共ニ款項ニ區分シテ調製シ成ルヘク歳入ノ性質ヲ明示スヘシ

第六條 歳出豫算ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シテ調製シ成ルヘク經費ノ目的ヲ明ニスヘシ

第七條 歳入歳出總豫算款項ノ區分ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ

第二款 豫定經費要求書

第八條 各省大臣ハ毎年度其所管經費ノ需用高ヲ算定シ前年度ノ定額ト比較テ立テ豫定經費要求書ヲ調製シ前年度八月三十一日マテニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條 各省ノ豫定經費要求書ハ經常臨時共ニ款項ニ區分シ更ニ各項中所要ノ金額ヲ各目ニ區分シ尙ホ必要ノ場合ニ於テハ番號ヲ以テ之ヲ細分シ又經費所要ノ理由計算ノ基ク所ヲ示スヘシ

目ノ區分ハ各省大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

第十條 各省ノ豫定經費要求書ニハ各省所管經費全體ニ關スル説明及各款各項ノ説明ヲ付スヘシ

第三款 仕拂豫算

第十一條 各省大臣ハ毎年度決定ノ豫算定額ニ基キ仕拂命令官毎ニ所要ノ費額ヲ定メ仕拂豫算ヲ調製シ大藏大臣ニ會計検査院ニ送付スヘシ

仕拂豫算ハ各項ノ金額ヲ示スヘシ

第十二條 仕拂豫算ヲ更定シタルトキハ其計算書ヲ大藏大臣及會計検査院ニ送付スヘシ

第十三條 大藏大臣仕拂豫算若クハ其更定計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ金庫ニ令達スヘシ

第四款 歳入歳出現計書

第十四條 會計法第六條ニ掲クル歳入歳出現計書ハ大藏省ニ備ヘタル主計簿ニ據リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第十五條 歳入歳出現計書ニハ總豫算ニ定メタル區分ニ從ヒ其年三月三十一日ヲ以テ終リタル年度ニ屬スル歳入歳出ノ八月三十一日ニ於ケル左ノ事項ノ現計ヲ示スヘシ

歳入ノ部

歳入豫算額

調定済歳入額

第一編 會計規則

收入濟歲入額
 不納缺損額
 收入未濟歲入額
 歳出ノ部
 歳出豫算額
 豫算決定後増加歳出額
 仕拂命令濟歳出額
 翌年度繰越額
 歳出殘額

第五款 豫備金支出

第十六條 豫備金ハ大藏大臣之ヲ管理ス
 第十七條 豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途及豫備金ヲ以テ支辨スル費途ノ金額ハ他ノ費途ニ流用スルコトヲ得ス
 第十八條 第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途ハ毎年度豫メ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第十九條 各省大臣第一豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作り大藏大臣ノ承認ヲ經ヘシ
 第二十條 大藏大臣第一豫備金ノ支出ヲ承認シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ
 第二十一條 各省大臣第二豫備金ノ支出ヲ要スルトキハ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作り之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
 第二十二條 大藏大臣ハ前條ノ計算書ヲ調査シ其意見ヲ付シテ勅裁ヲ請フヘシ

第二十三條 第二豫備金支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣其事故金額ヲ會計検査院ニ通知シ及官報ニ掲載スヘシ

第二十四條 豫備金ヲ以テ補充支辨シタル金額ハ各省大臣其計算書ヲ作り各費途毎ニ説明ヲ付シ年度經過後五箇月以内ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
 大藏大臣ハ豫備金支出ヲ第一豫備金支出ト第二豫備金支出トニ大別シ其總計算書ヲ作り之ニ説明ヲ付シ各省大臣ヨリ送付シタル豫備金支出ノ計算書ト共ニ帝國議會ニ提出スルノ手續ヲ爲スヘシ

第三章 收入

第二十五條 收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收スルトキハ其領收證ヲ納人ニ交付シ領收濟ノ旨ヲ歳入ヲ徵收スル官吏ニ報告スヘシ
 第二十六條 收入官吏ハ大藏大臣定ムル所ノ規則ニ從ヒ毎月一回若クハ數回其領收シタル金額ヲ金庫ニ拂込ムヘシ但金庫ノ設ナキ運輸通信ノ不便ナル地方ニ在ル收入官吏ノ領收シタル金額ハ該官吏之ヲ保管シ大藏大臣ノ指定ニ從ヒ金庫ニ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ
 第二十七條 金庫ハ收入官吏又ハ納人ヨリ租稅其他ノ收入金ヲ領收スルトキハ其領收證ヲ拂込人又ハ納人ニ交付シ領收濟ノ旨ヲ歳入ヲ徵收スル官吏ニ通知スヘシ
 第二十八條 (削除)
 第二十九條 (削除)
 第三十條 歳入ヲ徵收スル官吏ハ其徵收簿ノ結果ニ據リ毎月徵收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ハ各省大臣ノ定メタル期限ニ之ヲ其事務管理廳ニ送付スヘシ
 第三十一條 歳入ノ事務管理廳ハ前條ノ徵收報告書ニ據リ毎月徵收總報告書ヲ作り之ニ必要ナ

ル参照書類ヲ添ヘ其翌月中ニ大藏大臣ニ送付スヘシ
第三十一條ノ二 納期ノ一定シタル收入ニシテ納期所屬ノ年度ニ於テ納額告知書ヲ發セザルモ
ノハ總テ納額告知書ヲ發シタル年度ノ歳入ニ編入スヘシ

第四章 支出

第一款 仕拂命令

第三十二條 仕拂命令官ハ總テ仕拂命令ヲ發スル前其經費ハ正當ニシテ必要ナルヤヲ調査シ該
經費ノ金額ヲ算定シ又該經費ハ仕拂豫算額ニ超過スルコトナキヤ支出科目及所屬年度ヲ誤ル
コトナキヤ該經費ハ豫算ヲ以テ定メラレタル目的ニ違フコトナキヤヲ調査スヘシ

第三十三條 仕拂命令ニハ債主若クハ其代理ハノ氏名、仕拂フヘキ金額、支出科目、年度、番號
ヲ記載スヘシ但支出科目ノ同一ナルモノハ數人ノ債主ニ對シ集合仕拂命令ヲ發シ別ニ各債主
ノ金額氏名表ヲ添ユルコトヲ得

現金前渡ノ仕拂命令ニハ前渡ヲ受クヘキ官吏ノ資格、氏名(銀行ナレハ其名稱)前渡ヲ爲スヘ
キ金額、支出科目、年度及番號ヲ記載スヘシ

第三十四條 仕拂命令ハ一項毎ニ之ヲ發スヘシ

第三十五條 仕拂命令官第二十二條ノ調査ヲ了シタルトキハ其仕拂命令ヲ受取人ニ交付スヘシ
但數人ノ債主ニ對スル集合仕拂命令及仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ
要スルモノハ直ニ仕拂命令ヲ金庫ニ送付シ受取人ニ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十六條 仕拂命令官前條ニ據リ仕拂命令ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ前以テ案内仕拂
命令ヲ金庫ニ送付スヘシ

第三十七條 (削除)

第三十八條 (削除)

第三十九條 現金前渡ノ仕拂命令ハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ發スヘシ

第一 常時ノ費用ニ係ルモノハ每一箇月分ノ費額ヲ豫定シテ仕拂命令ヲ發スヘシ但在外各廳
ノ經費外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費運輸通信ノ不便ナル内國ノ地方ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費其
他仕拂場所ノ一定セザル經費ハ事務ノ必要ニ由リ二箇月以上六箇月分マテ合セテ仕拂命令
ヲ發スルコトヲ得

第二 隨時ノ費用ニ係ルモノハ所要ノ費額ヲ豫定シテ事務上差支ナキ限りハ成ルヘク分割シ
テ仕拂命令ヲ發スヘシ

第三 各廳ニ於テ直接ニ從事スル工事ノ經費ハ工事ノ大小ニ由リ其所要ヲ量リ六千圓以内ニ
於テ仕拂命令ヲ發スヘシ

第四十條 會計法第十五條第七ニ據リ現金前渡ヲ爲シタルトキハ左ノ場合ヲ除クノ外更ニ同一
ノ主任官吏ニ現金前渡ヲ爲スタメ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

第一 前ニ發シタル仕拂命令ノ金額三分ノ二以上ノ仕拂濟證明アリタルトキ但此場合ニ於テ
ハ更ニ發スル仕拂命令ノ金額ト前ニ發シタル仕拂命令ノ仕拂濟證明未濟ノ金額ト合シテ六
千圓ヲ超ルコトヲ得ス

第二 前ニ發シタル仕拂命令ノ金額六千圓未滿ニシテ更ニ發スル仕拂命令ノ金額ト合シテ六
千圓ヲ超サルトキ

第四十一條 現金前渡ヲ受ケタル官吏監督ノ規則ハ大藏大臣各省大臣ニ協議シテ之ヲ定ムヘシ

第四十二條 會計法第十五條ニ據リ政府ノ命シタル銀行ニ委任シテ現金仕拂ヲ爲サシムル爲メ
ニ發スル現金前渡ノ仕拂命令ハ國債元利金仕拂ノ場合ニ限ル

第一編 會計規則

ノトス
第四十四條 各年度ニ屬スル經費ヲ清算シテ仕拂命令ヲ發スルハ翌年度五月三十一日限リトス

第二款 仕拂命令ノ執行

第四十五條 金庫ハ案内仕拂命令集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令ヲ受ケタルトキ其命令合式ニシテ且仕拂豫算各項ノ金額ニ超過セサルトキハ仕拂ヲ爲スヘシ

金庫ニ於テハ休日ヲ除クノ外毎日其開庫時間内ハ何時ニテモ仕拂命令持參人ニ仕拂命令ト引替ニテ現金ヲ交付スヘシ但集合仕拂命令、金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令ニ對シテハ領收證書ト引替ニ現金ヲ交付スヘシ

第四十六條 左ノ場合ニ於テハ事由ヲ仕拂命令持參人ニ告ケ金庫ニ於テ仕拂命令ノ執行ヲ拒ムヘシ

第一 案内仕拂命令ノ到着セサルトキ

第二 仕拂命令ト案内仕拂命令ト符合セサルトキ

第三 仕拂命令汚損シ案内仕拂命令ト照合シ難キトキ

第四十七條 各年度ノ仕拂命令ニシテ翌年度六月三十日マテニ仕拂ノ請求ナキ仕拂命令濟金額ニ相當スル資金ハ會計法第二十條ノ歲計剩餘ニ組入レス國庫ニ於テ繰越整理スヘシ

第四十八條 前條ノ資金中年度經過後滿カ箇年内ニ仕拂ノ請求ナクシテ會計法第十八條ノ期滿免除ニ據リ政府カ負債ノ義務ヲ免レタルモノアルカ爲メ不用トナリタルモノハ其負債ノ期滿免除トナリタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

第三款 計算報告

第四十九條 金庫出納役ハ毎月仕拂命令受領濟額報告書ヲ調製シ其翌月中ニ大藏省ニ送付スヘシ但運輸不便ノ土地若クハ遠隔ノ地方ニシテ本文期限ニ據リ難キモノハ豫メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五十條 (削除)

第五章 決算

第一款 總決算

第五十一條 歳入歳出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ據リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第二款 各省決算報告書及收入支出計算書

第五十二條 各省大臣ハ翌年度十一月三十日マテニ各省豫定經費要求書ト同一ノ區分ニ據リ其省所管ニ屬スル經費ノ決算報告書ヲ調製シ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

歳入ヲ徵收スル官吏ハ會計検査院ニ證明ノ爲メ毎年度歳入徵收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其歳入事務管理廳ニ送付シ歳入事務管理廳ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

仕拂命令官ハ會計検査院ニ證明ノ爲メ毎月支出ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其主管大臣ニ送付シ主管大臣ハ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

本條第二項第三項ノ場合ニ於テ歳入歳出ニ關スル計算書ハ特ニ監督ノ任アル官吏若クハ特ニ主管大臣ヨリ委任ヲ受ケタル官吏ヨリ直ニ會計検査院ニ送付セシムルコトヲ得

第三款 國債計算書

第五十三條 國債計算書ハ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第一編 會計規則

第五十四條 國債計算書ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

- 第一 當該年度末日ニ於ケル國債ノ種類及現高ヲ示ス所ノ計算
- 第二 當該年度ニ於テ償還シ及仕拂ヒタル各種國債ノ元高及利子ノ計算
- 第三 最近五箇年度間ニ於ケル各種國債増減ノ形況ヲ示ス所ノ計算

第四款 特別會計計算書

第五十五條 特別會計計算書ハ會計法第三十條ニ據リ特別ノ會計ヲ立ルコトヲ許サレタル事務

ヲ管理スル所ノ各省大臣之ヲ調製シ毎年度經過後五箇月以内ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十六條 特別會計計算書ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

- 第一 收入計算
- 第二 支出計算
- 第三 最近五箇年度間資金ノ増減
- 第四 最近五箇年度間損益ノ比較

第六章 定額繰越、過年度支出、定額戻入

第一款 定額繰越

第五十七條 各省大臣會計法第二十一條及第二十二條ニ據リ定額ノ繰越ヲ要スルトキハ翌年度

五月三十一日迄ニ繰越計算書ヲ作り大藏大臣ノ承認ヲ求ムヘシ

本條繰越計算書ハ歳出豫算ノ區分ニ從ヒ調製シ左ノ事項ヲ示スヘシ

- 第一 繰越ヲ要スル項ノ定額
- 第二 右定額ニ對シ既ニ仕拂命令濟トナリタル額及當該年度所屬トシテ仕拂命令ヲ發スヘキ

額

第三 右定額ニ對シ仕拂命令ヲ發スヘキ額即チ翌年度ニ繰越ヲ要スル額

第四 右ノ額中全ク不用ニ歸シ決算ニ於テ取消スヘキ額

第五十八條 會計法第二十一條ニ據リ年度内ニ其經費ノ支出ヲ終ラサリシ金額ヲ翌年度ニ繰越

サントスルトキハ其繰越サントスル金額ノ計算書ニ各事件毎ニ竣功遅延ノ理由ヲ示シ又請負

ニテ爲サシムル工事若クハ製造ナレハ竣功遅延ノ事由ノ外ニ請負人職業住所氏名ヲ示シ契約

書ノ寫ヲ添ユヘシ

第五十九條 大藏大臣各省定額ノ繰越ヲ承認シタルトキハ之ヲ會計検査院ニ通知スヘシ

第二款 過年度支出

第六十條 過年度ニ屬スル經費ノ支出ヲ爲ストキハ現年度各省定額ニ對シ仕拂命令ヲ發スヘシ

第六十一條 (削除)

第六十二條 第六十條ニ據リ支出セントスル經費ノ金額ハ豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキモノ、外

其經費所屬年度ノ豫算ニ於テ該經費ノ屬スル毎項定額中不用トナリタル金額ヲ超過スヘカラ

第三款 定額戻入

第六十三條 仕拂命令官會計法第二十三條但書ニ依リ定額ノ戻入ヲ爲サントスルトキハ其旨ヲ

金庫ニ通知スヘシ

第六十四條 金庫ハ定額ニ戻入ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ仕拂命令官ニ通知スヘシ

第六十五條 各年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ翌年度五月三十一日ヲ過クルコトヲ得ス

第六十六條 (削除)

第七章 政府ノ工事及物件ノ賣買貸借

第一款 總則

第六十七條 各省大臣千圓以上ノ工事ニ付テハ竣工ノ後其工事ヲ監督シタル官吏又ハ技術者ヲ

シテ之カ調書ヲ作ラシムヘシ

契約ニ據リ工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントス

ルトキハ各省大臣ハ特ニ檢査ノ官吏ヲ命シテ事實ヲ測定シ其調書ヲ作ラシムヘシ

仕拂命令官ハ前各項ノ調書ニ據ルニアラサレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

第六十八條 前條第二項ノ仕拂ヲ爲サントスルトキハ工事ニ付テハ其既濟部分ニ對スル代價ノ

十分ノ九物品ニ付テハ其既納部分ニ對スル代價ヲ超ユヘカラス但箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ

工事ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其代價ノ全額マテ仕拂フコトヲ得

第六十九條 工事又ハ物品供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ其工事

又ハ物品ノ供給ニ二年以來從事スルコトヲ證明スヘシ

各省大臣ハ工事又ハ物品ノ性質ニ依リ必要アルトキハ前項ノ外特ニ省令ヲ以テ其競争者ノ資

格ヲ定ムルコトヲ得

同シ

工事又ハ物品賣買ノ競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ現金又ハ公債證書

ヲ以テ保證金ヲ納ムヘシ

第六十九條ノ二 各省大臣ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ハ爾後二箇年間工事又ハ

物品賣買ノ競争ニ加ハルコトヲ得ス其之ヲ代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用シタル者亦

同シ

一、工事又ハ物品供給ノ契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事又ハ物品ヲ粗雑ニシタル者

一、競争ニ際シ漫ニ價格ヲ競上ケ若クハ競下クルノ目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

一、競争ノ加入ヲ妨害シ若クハ競落者ノ契約履行ヲ妨害シタル者

一、工事又ハ物品ノ檢査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

一、前各號ニ該當スト認メラレタル後二箇年ヲ經過セサル者ヲ工事請負又ハ物品賣買ニ際シ

代理人支配人番頭又ハ手代トシテ使用スル者

第六十九條ノ三 前條ニ該當シタル者ヲ入札代理トシテ使用スル者ハ競争ニ加ハルコトヲ得

第七十條 前條ノ保證金ハ左ノ制限ニ據リ各省大臣之ヲ定ムヘシ

第一 競争ニ加ハラントスル者ハ其事項ノ見積代金ノ百分ノ五以上

第二 契約ヲ結ハントスル者ハ其事項ノ代金ノ百分ノ十以上

第七十一條 競争ノ落札者請負又ハ賣買ノ契約ヲ結ハサルトキハ其保證金ハ政府ノ所得トス

第七十二條 競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

第七十三條 入札ノ方法ヲ以テ工事又ハ物件ノ賣買貸借ヲ契約セントスルトキハ其入札期日ヨ

リ少クモ十五日以前ヨリ揭示又ハ官報新聞紙其他ノ方法ヲ以テ成ルヘク廣ク公告スヘシ但シ

要急ノ場合ニ於テハ公告期間ヲ七日迄ニ短縮スルコトヲ得

第七十四條 前條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

第一 競争入札ニ付スル事項

第二 契約書案ヲ示ス場所及其契約ノ取結ヲ擔任スル官吏ノ官氏名

第三 競争執行ノ場所日限及時割

第四 入札ノ保證金額

第七十五條 各省大臣若クハ其委任ヲ受ケタル官吏ハ其競争入札ニ付シタル工事又ハ物件ノ價格ヲ豫定シ其豫定價格ヲ封書トシ開札ノ時之ヲ開札場所ニ置クヘシ

第七十六條 開札ハ公告ニ示シタル場所日限時刻ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但入札人出席セサルカ又ハ出席セサル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ開札ニ立會ハシムヘシ入札人ハ一旦提出シタル入札書ノ引換變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得ス

競争加入ノ資格ナクシテ爲シタル者ノ入札ハ無効トス
第七十七條 開札ノ上ニテ各人ノ入札中一モ第七十五條ニ據リ豫定シタル價格ノ制限ニ達セサルトキハ直ニ出席入札人ヲシテ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十八條 落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者數名アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ

第七十九條 競争ノ落札者請負又ハ賣買貸借ノ契約ヲ結ハサルトキハ更ニ競争ヲ行フヘシ但本條ノ場合ニ於テハ第七十三條ノ期限ヲ七日マテニ短縮スルコトヲ得

第八十條 工事及物件ノ賣買貸借契約書ニハ其契約セントスル事項ノ細密ナル設計、仕譯、落成期限、受渡期限、保證金額、契約違背ノトキ保證金ニ對スル處分、其他一切必要ナル條件ヲ掲クヘシ

第八十一條 契約ハ各省大臣若クハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏其契約書ニ署名捺印スルニアラサレハ確定セサルモノトス

第三款 隨意契約

第八十二條 隨意契約書ハ第八十條及第八十一條ニ準據シ之ヲ作ルヘシ但一口千圓未滿ノ隨意契約ノ場合ニ於テハ本文ノ契約書ヲ省略スルコトヲ得
第八十三條 隨意契約ノ場合ニ於テハ各省大臣ノ見込ニヨリ第六十九條ノ規定ニ據ラサルコトヲ得

第八章 出納官吏

第一款 收入官吏、現金前渡ヲ受ケタル官吏

第八十四條 出納官吏ハ其責任ニ屬スル會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其責任ヲ免ルコトヲ得ス但各省大臣ノ命令ヲ以テ特ニ其代理官若クハ分任官ヲ定メタルトキ其代理官若クハ分任官ノ所爲ニ付テハ本條ノ限ニアラス

前項代理官ハ出納官吏ノ事務ノ全部ヲ代理シ分任官ハ其一部ヲ分掌スルモノトス
第八十五條 各省大臣ノ命シタル出納官吏代理官若クハ分任官ハ其所爲ニ付會計法第二十六條ノ責任ヲ免ルコトヲ得ス

第八十六條 出納官吏ハ現金前渡及現金收入ニ關シ大藏大臣ノ指揮監督ヲ受ク
第八十七條 (割餘)

第八十八條 各省大臣ハ所屬出納官吏ノ所爲ニ由リ政府ノ損失ヲ生シタリト認ムル場合ニ於テハ會計検査院ノ判決以前ト雖モ其出納官吏ニ向テ辨償ヲ命スルコトヲ得

第八十九條 前條ノ場合ニ於テ其辨償ヲ命セラレタル出納官吏負擔ノ責ヲ免ルヘキ理由アリト信スルトキハ計算書ヲ作り證憑書類ヲ添へ本屬大臣ヲ經由シテ之ヲ會計検査院ニ送付シ其判決ヲ求ムルコトヲ得
各省大臣ハ前項ノ場合ト雖モ其命シタル損失金ノ辨償ヲ猶豫セス

會計検査院ニ於テ其出納官吏ニ向テ辨償ノ責ナシト判決シタルトキハ其既納ニ係ル辨償金ハ直ニ之ヲ還付ス

第九十條 (削除)

第九十一條 收入官吏及現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ハ毎年三月三十一日若クハ該官吏轉免死亡停職ノトキ本屬大臣検査員ヲ命シテ之ヲ検査セシムヘシ但臨時ニ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ハ定時ノ検査ヲ要セス

大藏大臣又ハ各省大臣ハ必要ト認ムルトキハ臨時ニ検査員ヲ命シテ現金ヲ領收スル收入官吏及現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ヲ検査セシムルコトアルヘシ

第九十二條 前條ノ検査ヲ執行スルニ當リ主務ノ出納官吏事故ニ由リ自身検査ヲ受クル能ハサルトキハ其代理者若クハ特ニ本屬大臣ノ命シタル官吏ニ於テ立會ヲ爲スヘシ

第九十三條 收入官吏及現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金櫃ヲ検査シタルトキハ其檢定書ニ通テ製シ検査員及主務ノ出納官吏若クハ立會人之ニ署名シ一通ハ該官吏若クハ立會人ニ交付シ一通ハ本屬大臣ニ提出スヘシ

第九十四條 收入官吏及現金前渡ヲ受ケタル官吏他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ別ニ検査ノ方法アルニ拘ラス金櫃ノ検査ヲ執行スル場合ニ於テハ他ノ公金ヲ合セテ検査ヲ行フヘシ

第九十五條 (削除)

第九十六條 (削除)

第九十七條 收入官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ一年度内ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ歳入ヲ徵收スル官吏ニ送付シ歳入ヲ徵收スル官吏ハ其下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第九十八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ毎月仕拂計算書ヲ

調製シ證憑書類ヲ添ヘ仕拂命令官ニ送付シ仕拂命令官ハ其下検査ヲ執行シ下検査書ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ但行軍費航海費ノ如キハ行軍若クハ航海ノ終リタルトキ本條ノ手續ヲ爲スコトヲ得

第九十八條ノ二 分任出納官吏ノ出納ハ總テ主任出納官吏ノ計算トシテ取扱ヒ其報告書及計算書ハ各別ニ提出ヲ要セス但各省大臣若クハ會計検査院ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ分任出納官吏ヲシテ報告書又ハ計算書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第九十九條 出納官吏交替ヲ爲シタルトキハ其在職期限間ニ執行シタル會計ノ計算書ヲ調製シ

第一百條 出納官吏死亡其他ノ事故ニ由リ自身ニ計算書ヲ調製スル能ハサルトキハ各省大臣特ニ命シタル官吏ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

出納官吏定期内ニ計算書ヲ送付セサルトキハ各省大臣ハ他ノ官吏ニ命シテ之ヲ調製セシムヘシ

本條ニ據リ調製シタル計算書ハ出納官吏ノ自身ニ調製シタルモノト見做シ會計検査院ニ於テ検査判決ヲ爲スヘシ

第一百一條 出納官吏ノ計算書ハ提出ノ後修正變更スルコトヲ得ス

第一百二條 會計法第二十八條ニ據リ出納官吏ノ納ムヘキ身元保證金額ハ各省大臣之ヲ定メ會計検査院ニ通知スヘシ

出納官吏相當ノ資産アル者二人以上ヲ以テ保證人ト爲ストキハ各省大臣前項ノ身元保證金ノ全部若クハ一部ヲ免除スルコトヲ得此場合ニ於テハ各省大臣ヨリ其保證人ノ住所氏名職業ヲ會計検査院ニ通知スヘシ但保證人ノ責任ハ免除シタル保證金額ニ止マルモノトス

第一百三條 身元保證金ハ現金ヲ以テ納ムヘシ但公債證書若クハ土地ヲ以テ現金ニ代用スルコト

ヲ得

第四百四條 身元保證ノ現金ハ大藏省預金局通常預金ノ利子ヲ付スヘシ
身元保證ニ供スル公證書若クハ土地ハ出納官吏ヨリ各省大臣若クハ各省大臣ノ指定シタル
官吏ニ書入トシ其土地ハ出納官吏ノ私費ヲ以テ登記ヲ受クヘシ

第四百五條 會計検査院ノ判決ニ依リ各省大臣出納官吏ノ損失金辨償ヲ命シタル場合ニ於テ其指
定シタル期限内ニ出納官吏ヨリ損失金ノ辨償ヲ爲サ、ルトキハ其身元保證金ヲ以テ辨償ニ充
ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ身元保證金ニ代用シタル公債證書若クハ土地ハ各省大臣之ヲ公賣ニ付シ其
代價ヨリ公賣ニ關ル費用及損失金額ヲ差引シ剩餘アルトキハ出納官吏ニ返付スヘシ
保證人ヲ以テ身元保證金ノ免除ヲ得タル官吏損失金ノ辨償ヲ命セラレタル場合ニ於テ辨償ス
ルコト能ハサルトキハ其保證人ヲシテ損失金ヲ辨償セシムヘシ

第四百六條 前條ノ場合ニ於テ出納官吏ノ身元保證金ヲ以テ損失金ノ辨償ニ充ルニ足ラサルトキ
ハ其不足ハ出納官吏ヨリ徴收スヘシ

第四百七條 出納官吏數職ヲ兼務シタルカ爲メ各職毎ニ身元保證ヲ爲シタルトキト雖モ身元保證
金ハ出納官吏ノ責任其何職ヲ行ヒタルヨリ生シタルヲ問ハス流用シテ辨償ニ充ツヘシ

第四百八條 (削除)

第四百九條 (削除)

第二款 金庫出納役

第四百十條 出納官吏ノ身元保證金ハ其解職後會計検査院ニ於テ其官吏ノ執行シタル會計事務ニ
付責任解除ヲ與ヘタル後ニ非サレハ之ヲ還付セス

第四百十一條 會計法第三十一條ニ據リ國庫金ノ取扱ヲ日本銀行ニ命シタル場合ニ於テハ日本銀
行總裁ハ金庫出納役トシテ金庫ノ出納ヲ掌ルヘシ
金庫出納役ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クル爲メ一年度内ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製
シ添書類ヲ添、之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
金庫出納役ハ會計検査院ノ検査ヲ受クル爲メ毎月各金庫出納内譯書ヲ調製シ添書類ヲ添ヘ
大藏大臣ニ送付スヘシ
大藏大臣ハ前各項ノ出納計算書及内譯書ヲ調査シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第九章 帳簿

第四百十二條 大藏省ハ日記簿原簿補助簿ヲ備ヘ國庫ノ計算ニ入ルヘキ一切現金ノ出納ヲ登記ス
ヘシ

第四百十三條 大藏省ハ歳入歳出ノ主計簿ヲ備ヘ總テ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺
損額、收入未濟額、歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、仕拂命令濟額、翌年度繰越額、殘額ヲ
登記スヘシ

第四百十四條 歳入ヲ徴收スル官吏ハ徴收簿ヲ備ヘ歳入ノ種類ヲ區分シ調定濟額、收入濟額、不納
缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第四百十五條 歳入ノ事務管理廳ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ種類ヲ區分シ歳入ノ豫算額、調定濟額、收
入濟額、不納缺損額、收入未濟額ヲ登記スヘシ

第四百十六條 金庫出納役ハ支出簿ヲ備ヘ歳出ノ科目ヲ區分シ仕拂豫算額、仕拂命令受領濟額ヲ登
記スヘシ

第四百十七條 (削除)

第一編 官有財産管理規則

第一百八條 收入官吏、現金前渡ヲ受ケタル官吏及金庫出納役ハ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ
第一百十九條 各年度經過後七箇月ノ末日ニ於テ大藏大臣ハ會計検査官立會ノ上ニテ大藏省ニ備ヘタル主計簿ヲ締切ルヘシ

第十章 雜則

第二百十條 本規則ニ據リ當該官吏及金庫出納役ヨリ會計検査院ニ提出スル所ノ證明書ニ關スル規程様式ハ會計検査院ニ於テ之ヲ定ムヘシ
第二百十一條 前條ノ外本規則ニ掲クル諸計算書仕拂命令領收證ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ
第二百十二條 帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ大藏大臣之ヲ定ムヘシ
第二百十三條 本規則ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス
本規則ト牴觸スル命令ハ本規則施行ノ日ヨリ總テ廢止ス

附則

本令中第三條第四十四條第四十七條第五十二條第一項第六十五條第一百十九條ニ關スル改正ハ明治三十五年會計ヨリ適用ス

○官有財産管理規則(明治二十三年十一月勅令第二百七十五號○明)

(治三十四年四月勅令第五十六號ヲ以テ改正)

第一條 此ノ規則ニ於テ官有財産ト稱スルハ國ノ所有ニ關スル土地、森林、原野、營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物トス
第二條 官有財産ハ主管ノ各省大臣之ヲ管理ス

第三條 官有財産ノ賣拂、讓與、交換及貸付ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外總テ此ノ規則ニ依ルヘシ

第四條 官有財産賣拂代金ハ其ノ財産引渡ノ際一時ニ納付セシムヘシ

第五條 官有財産ヲ貸付スルトキハ其ノ貸付料ヲ徵收スヘシ但シ公益ノ爲官有財産ヲ貸付シ又ハ森林經濟ノ爲森林ヲ貸付スルトキハ別ニ主管大臣ノ定ムル所ノ規則ニ依ル

第六條 官有財産ノ貸付料ハ毎年前納セシムヘシ若前納スル能ハサルトキハ相當ノ保證ヲ出サシムヘシ

貸付財産ノ修理其ノ他ノ費用ヲ負擔スル方法ハ貸付契約ヲ爲ストキ之ヲ定ムヘシ

第七條 官有財産ノ貸付ハ左ノ期限ヲ超ユルコトヲ得ス

第一 樹木培養ニ供スル土地ハ八十年以内

第二 農工其ノ他ノ營業及住居ニ供スル土地ハ三十年以内

第三 土地森林ノ使用權ハ十五年以内

第四 右ニ掲ケサル物件ハ三年以内

第八條 官有財産ノ貸付期限中政府ニ於テ之ヲ國ノ使用ニ供スルノ必要アルトキハ貸付ノ契約ヲ解キ之ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ借受人ハ其ノ直接ニ受ケタル損失ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 官有財産ノ借受人ニシテ主管大臣ノ許可ヲ得スシテ其ノ財産ノ原形ヲ變シ若ハ故意怠慢ニ依リ之ヲ荒廢ニ歸シ又ハ毀損亡失シタルトキハ主管大臣ハ其ノ損失ヲ賠償セシムヘシ

第十條 官有財産ノ借受人ハ主管大臣ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其ノ財産ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十一條 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クト

第一編 官有財産管理規則

モ評定價格相均キモノニ限ル

森林、原野、田畑ハ同一種類ノ財産ト見做スコトヲ得

營造物、家屋、船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十二條 府縣郡市町村公共ノ道路、公園、市場、河川竝木敷、堤塘、溝渠等ノ用ニ供スル爲官有ノ土地森林、必要トスルトキハ主管大臣ニ於テ之ヲ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得

第十三條 府縣郡市町村ニ於テ新ニ道路、公園、市場、河川竝木敷、堤塘、溝渠等ヲ開設シ爲ニ不用ニ歸シタル官有ノ舊同種類ノ土地ハ内務大臣ニ於テ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得但シ官林内若ハ官廳使用地内ニ包含セルモノ又ハ他ノ官有財産保護上離權シ難キモノハ此ノ限ニアラス

第十四條 官有財産ヲ賣拂貸付若ハ交換スル場合ニ於テ其ノ財産ヲ管理シ若ハ其ノ取扱ヲ爲ス官吏ハ之ヲ買受ケ又ハ自己ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス

第十五條 此ノ規則施行ノ前ニ官有財産ノ賣拂若ハ貸付ノ契約ヲ爲シタルモノハ其ノ契約ノ満期マテ總テ舊契約ニ依ルヘシ

第十六條 各省大臣ハ每會計年度間ニ於ケル所管官有財産ノ増減異動報告書ヲ調製シ翌年度開會ノ帝國議會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ但シ國防用防禦營造物ハ此ノ限ニ在ラス(明治三十四年追加)

第十七條 各省大臣ハ每會計年度間ニ於ケル所管官有財産ノ増減異動報告書ヲ調製シ翌年度開會ノ帝國議會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ但シ國防用防禦營造物ハ此ノ限ニ在ラス(明治三十四年追加)

第十八條 第十六條ノ目錄及第十七條ノ報告書ハ其ノ事由ニ依テ區別シ左ノ事項ヲ示スヘシ
第一 買入ニ係ルモノハ其ノ代價
第二 賣拂ニ係ルモノハ各廳ニ於テ定メタル最低賣價、實際ノ賣拂代價及目錄價格アルモノハ其ノ價格
第三 讓與交換又ハ亡失毀損等ニ係ルモノハ其ノ目錄價格
第四 交換ニ係ルモノハ其ノ交換ニ由テ得タル財産
第五 買入又ハ賣拂ノ契約ニ特別ノ條件アルモノハ其ノ條件

第十九條 此ノ規則第十六條ニ掲クル官有財産ノ目錄ニシテ第一回ノモノハ明治二十四年三月三十一日ノ現在高チ以テ同年六月三十日マテニ之ヲ調製スヘシ但シ調査未濟ノ官有財産ハ調査ヲ了ルマテ其ノ概算ヲ目錄ニ掲クヘシ

第二十條 此ノ規則ハ明治二十四年四月一日ヨリ施行ス

第二編 附錄

○貴族院事務局官制

明治二十三年七月勅令第百二十一號
○明治三十一年十月勅令第百二十九號
○明治三十四年三月勅令第百三十二號
○明治三十五年六月勅令第百四十七號
○明治三十七年六月勅令第百四十八號
○明治三十八年三月勅令第百三十一號
○明治三十九年三月勅令第百三十三號
○明治四十一年三月勅令第百三十四號
○明治四十二年三月勅令第百三十五號
○明治四十四年三月勅令第百三十七號
○明治四十五年三月勅令第百三十八號
○明治四十六年三月勅令第百三十九號
○明治四十七年三月勅令第百四十號
○明治四十八年三月勅令第百四十一號
○明治四十九年三月勅令第百四十二號
○明治五十年三月勅令第百四十三號
○明治五十一年三月勅令第百四十四號
○明治五十二年三月勅令第百四十五號
○明治五十三年三月勅令第百四十六號
○明治五十四年三月勅令第百四十七號
○明治五十五年三月勅令第百四十八號
○明治五十六年三月勅令第百四十九號
○明治五十七年三月勅令第百五十號
○明治五十八年三月勅令第百五十一號
○明治五十九年三月勅令第百五十二號
○明治六十年三月勅令第百五十三號
○明治六十一年三月勅令第百五十四號
○明治六十二年三月勅令第百五十五號
○明治六十三年三月勅令第百五十六號
○明治六十四年三月勅令第百五十七號
○明治六十五年三月勅令第百五十八號
○明治六十六年三月勅令第百五十九號
○明治六十七年三月勅令第百六十號
○明治六十八年三月勅令第百六十一號
○明治六十九年三月勅令第百六十二號
○明治七十年三月勅令第百六十三號
○明治七十一年三月勅令第百六十四號
○明治七十二年三月勅令第百六十五號
○明治七十三年三月勅令第百六十六號
○明治七十四年三月勅令第百六十七號
○明治七十五年三月勅令第百六十八號
○明治七十六年三月勅令第百六十九號
○明治七十七年三月勅令第百七十號
○明治七十八年三月勅令第百七十一號
○明治七十九年三月勅令第百七十二號
○明治八十年三月勅令第百七十三號
○明治八十一年三月勅令第百七十四號
○明治八十二年三月勅令第百七十五號
○明治八十三年三月勅令第百七十六號
○明治八十四年三月勅令第百七十七號
○明治八十五年三月勅令第百七十八號
○明治八十六年三月勅令第百七十九號
○明治八十七年三月勅令第百八十號
○明治八十八年三月勅令第百八十一號
○明治八十九年三月勅令第百八十二號
○明治九十年三月勅令第百八十三號
○明治九十一年三月勅令第百八十四號
○明治九十二年三月勅令第百八十五號
○明治九十三年三月勅令第百八十六號
○明治九十四年三月勅令第百八十七號
○明治九十五年三月勅令第百八十八號
○明治九十六年三月勅令第百八十九號
○明治九十七年三月勅令第百九十號
○明治九十八年三月勅令第百九十一號
○明治九十九年三月勅令第百九十二號
○明治一百年三月勅令第百九十三號

八年五月八日
九年九月一日

第一條 貴族院事務局ニ左ノ職員ヲ置ク

書記官長 一人

書記官 四人

守衛長 一人

屬 專任十二人

速記技手 專任三十人

守衛副長 專任二人

第二條 書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ局中一切ノ事務ヲ監督ス

局中ノ分課及職員ノ配置ハ書記官長之ヲ定ム

第三條 書記官ハ書記官長ノ指揮監督ヲ承ケ議事記録筆記印刷庶務會計警務等ニ關スル事務ヲ分掌ス

第四條 書記官長故障アルトキハ上席書記官其ノ任務ヲ代理ス

第五條 屬及速記技手ハ判任トス書記官長ノ定ムル所ニ依リ各其ノ事務ニ従フ

第六條 削除

第二編 附錄

二百十七

連記士ハ委任トス上官ノ指揮監督ヲ用テ速記ニ關スル事務ヲ掌ル

第五條

速記士

三十人

第七條 守衛副長ハ判任トス守衛長ヲ助ケ守衛ヲ指揮シ守衛長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

○貴族院事務局ニ技手ヲ置クノ件(明治三十年十一月勅令第四百十三號)

貴族院事務局ニ屬定員以内ニ於テ技手ニ入ヲ置クコトヲ得

○貴族院事務局分課規程(大正二年六月十八日○同七年六月二十八日改正)

第一條 貴族院事務局ニ左ノ四課ヲ置ク

- 一 議事課
- 二 委員課
- 三 速記課
- 四 庶務課

第二條 議事課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 議院ノ會議ニ關スル事項
- 二 削除
- 三 各部ニ關スル事項
- 四 議事日程ノ調製、報告及發言通告ニ關スル事項
- 五 議案其ノ他會議ニ關スル文書ノ取扱並印刷配付ニ關スル事項
- 六 議員ノ闕席及請假ニ關スル事項
- 七 議事録、議決原本其ノ他議事ニ關スル文書ノ調製並取扱ニ關スル事項
- 八 先例錄及事務局報告編纂ニ關スル事項

第三條 委員課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 委員會ノ會議ニ關スル事項
- 二 請願並資格及選舉爭訟ニ關スル事項
- 三 委員會會議錄其ノ委員會ニ關スル文書調製ニ關スル事項
- 四 委員會先例錄編纂ニ關スル事項

第三條ノ二 速記課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 議院ノ會議及委員會會議ノ速記並速記録編製ニ關スル事項
- 二 速記者養成ニ關スル事項

第四條 庶務課ハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 議員ノ身分並其ノ辭職又ハ補闕選舉ノ上奏ニ關スル事項
- 二 職員ノ身分及進退ニ關スル事項
- 三 議院、議長、副議長ノ公印及官印ノ保管ニ關スル事項
- 四 文書ノ接受、發送ニ關スル事項
- 五 官報報告及統計ニ關スル事項
- 六 傍聽券 入場券、通院券ニ關スル事項
- 七 儀式ニ關スル事項
- 八 會計用度及官有財産保管ニ關スル事項
- 九 守衛事務ニ關スル事項
- 十 文庫管理ニ關スル事項
- 十一 公文書類、圖書及内外新聞雜誌ノ出納ニ關スル事項
- 十二 貴族院要覽其ノ他議院ニ關スル參考書類ノ調査編輯ニ關スル事項

- 十三 貴族院彙報ノ刊行ニ關スル事項
- 十四 他課ノ分掌ニ屬セサル文書ノ調製及事務ニ關スル事項
- 第十五 各課ニ課長ヲ置キ書記官ヲ以テ之ニ充ツ
- 第十六 各書記官ハ議場ニ於テ議院ノ會議ニ關スル事務ニ從事ス

○圖書借覽規則 明治十七年十一月九日

- 第一條 本院ノ圖書(英國議院文書及新聞、雜誌ヲ含ム以下同シ)ヲ借覽シ得ヘキ者ハ貴族院衆議院ノ議員及兩院判任官以上ノ職員ニ限ル但シ特ニ書記官長ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ圖書借用證明紙ニ書名冊數番號ヲ記シ署名捺印スヘシ
部室又ハ委員室ニ於テ圖書ヲ借用セントスルトキハ部長又ハ委員長ノ名ヲ以テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三條 借覽部數ハ一名ニ付圖書五部、新聞、雜誌各三部ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第四條 借覽期限ハ凡テ一箇月ヲ過クルコトヲ得ス但シ雜誌ニシテ借受ノトキ發行ノ日ヨリ一箇月ヲ經過セサルモノハ三日ヲ過クルコトヲ得ス
- 第五條 借覽ノ圖書公務上ノ必要ニ依リ第三條第四條ノ制限ヲ超過セントスルトキハ豫メ圖書係長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第六條 判任官ニ在ツテハ所屬課長ノ證明ヲ受ケ前項ノ手續ヲ爲スヲ要ス
各課ニ於テ日常必要ノ圖書ハ各課ノ請求ニ依リ該課備付圖書トシテ期限ヲ定メス貸付スルコトヲ得
- 第七條 借覽ノ圖書ハ期限中ト雖必要ノ場合ニ於テハ之ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 第八條 借覽ノ圖書ハ凡テ東京市外ニ帶出スルコトヲ許サス

第九條 重要ノ圖書ニシテ數本ノ備ヘナキモノ、字典法典ノ類、英國議院文書、新聞紙ノ裝釘ニ至ラサルモノハ閱覽室ニ於テ閱覽スルノ外之ヲ借り受クルコトヲ得ス

第十條 借覽圖書ヲ紛失シ又ハ毀損シタル者ハ同一ノ圖書若ハ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシム

借覽圖書ノ返納ヲ怠ル者ハ新ニ圖書ノ貸出ヲ停止シ場合ニ依リ紛失シタルモノト看做シ處分スルコトアルヘシ

第十一條 第一條ノ資格ヲ失ヒタル者ハ三日以内ニ借覽ノ圖書ヲ返納スヘシ

○貴族院所藏圖書數(大正七年十二月十四日調)

- 一 和漢書 二萬九百七十四冊、一千百五十三折、三百二十二枚、二十面、二十五帖、九帙、一卷、一軸
- 一 英米書 六千九百九十二冊、二枚、一卷
- 一 佛書 一千四百五十七冊
- 一 獨書 一千六百十六冊、十八枚
- 一 雜書 百七十五冊
- 合計 三萬五百十四冊、一千百五十三折、三百四十二枚、二十面、二十五帖、九帙、二卷、一軸

○議事堂

初メ政府ハ東京市麴町區日比谷附近ノ地ヲトシ兩議院建築ノ事ヲ決議シ

計畫スル所アリ然ルニ明治二十三年帝國議會開設ノ期迄ニ落成ノ見込ナキヲ以テ更ニ假議院ヲ建築スルコトヲ決議シ茲ニ其ノ建築ヲ見ルニ至レリ而シテ兩院議長官舎及兩院書記官舎亦同時ノ建築ニ係ル左ニ議院建築ノ大要ヲ掲ク

- 一 位置 東京市麴町區内幸町二丁目
- 一 建築年月 明治廿一年六月起工同廿三年十一月竣工
- 一 敷地坪數 七千六百二十一坪三合一勺
- 一 建物坪數 二千四百三十二坪六合六勺五才(附屬建物共)
- 一 構造 木造西洋二階家
- 一 建築費 金二十三萬二千八百六十八圓七十九錢五厘
- 一 裝飾其他備品費 金二萬千七百七圓十二錢一厘
- 一 建築管理 臨時建築局
- 一 建築擔當技師 內務技師 吉井茂則
アドルフ、ステヒミユル(獨逸人)

(兩議院建物圖之ヲ略ス)

右議院ハ明治二十四年一月二十日夜祝融ノ災ニ罹リ兩院議長及書記官長官舎其ノ他一二附屬建物ヲ除ク外全ク烏有ニ歸セリ時恰モ第一回議會開會中ナリシヲ以テ政府ノ假リニ山下町帝國「ホテル」ヲ以テ貴族院議場ニ虎門内元工部大學校跡ヲ以テ衆議院議場ニ充テ直チニ議院再建

ニ從事シタリ

○新議院ハ舊議院ノ規模ニヨリ多少ノ修補ヲ加ヘタルモノニシテ日夜督勵工事ヲ急キタル爲メ次期ノ議會ハ再建議院ニ於テ開會ヲ見ルニ至レ

リ
新議院ノ建築ニ付キテ舊議院ト異ナル部分ノ大要ヲ左ニ摘載ス

- 一 建築年月 明治二十四年二月起工同年十一月竣工
- 一 建物坪數 三千百九十三坪八合三才
- 一 建築費 金二十二萬九千四百二十四圓十一錢二厘
- 一 裝飾費 金二萬五千二百二十九圓五錢
- 一 貴族院 金一萬四千五百九十九圓七錢五厘
- 一 衆議院 金一萬九百二十九圓九十七錢五厘
- 一 建築擔當技師 內務省技師 吉井茂則
妻木頼黄
オスカル、チーツエ(獨逸人)

(兩議院建物圖之ヲ略ス)

右議院ハ大修繕ヲ加フルノ必要ニ至リ明治三十九年五月ヨリ起工シテ同四十一年十一月ニ至リ之ヲ竣工セリ
兩議院建物圖ハ別項議場及各室ノ項ニ掲ク

兩議院議長官舎

一位 置	麴町區内山下町	衆貴
敷地坪數	千十坪	議院
一 建物坪數	二百二十一坪五合八勺七才	衆貴
一 建築費	二百二十一坪五合六勺六才	議院
一 裝飾費	二萬八千六百五十七圓四十一錢五厘	衆貴
一 構造	二萬八千五百二十七圓六十二錢一厘	議院
	二千三百三十三圓四十七錢七厘	衆貴
	千七百三十四圓十七錢七厘	議院
	木造和洋兩樣二階家	衆貴
		議院
兩院書記官長官舎		
一位 置	麴町區内幸町議院構内	衆貴
敷地坪數	七百三十四坪四合	議院
一 建物坪數	七百三十四坪五勺	衆貴
一 建築費	百十六坪五合一勺六才	議院
一 構造	百十三坪八合五勺二才	衆貴
	一萬二千五百五十圓八十錢五厘	議院
	一萬二千三百八十圓四十六錢一厘	衆貴
	木造和洋兩樣二階家	議院

○議場及各室 (別表ノ如シ)

○廣島臨時議會議事堂

臨時帝國議會ヲ廣島大本營ノ下ニ召集スルノ詔ヲ發セララル、ヤ假議場ヲ同市西練兵場ニ建設スルコトニ決ス左ニ建築ノ大要ヲ掲ク

一位 置	廣島市基町西練兵場内(陸軍省用地)	衆貴
一 建築年月	明治二十七年九月二十八日起工同年十月十四日竣工	議院
一 敷地坪數	七千六百十坪四合一勺	衆貴
一 建物坪數	八百八十一坪三勺四才(附屬建物共)	議院
一 建築諸費	金二萬五千百十四圓五十四錢八厘	衆貴
	金一萬二千七百二十八圓八十錢五厘	議院
	金一萬二千三百八十五圓七十四錢三厘	衆貴
一 構造	木造板葺堀建西洋風平家	議院
一 設計並監督技師	內務省技師妻木賴黃	衆貴
一 兩院事務局	廣島市廣島憲兵隊本部及首部ヲ以テ之ニ充ツ	議院

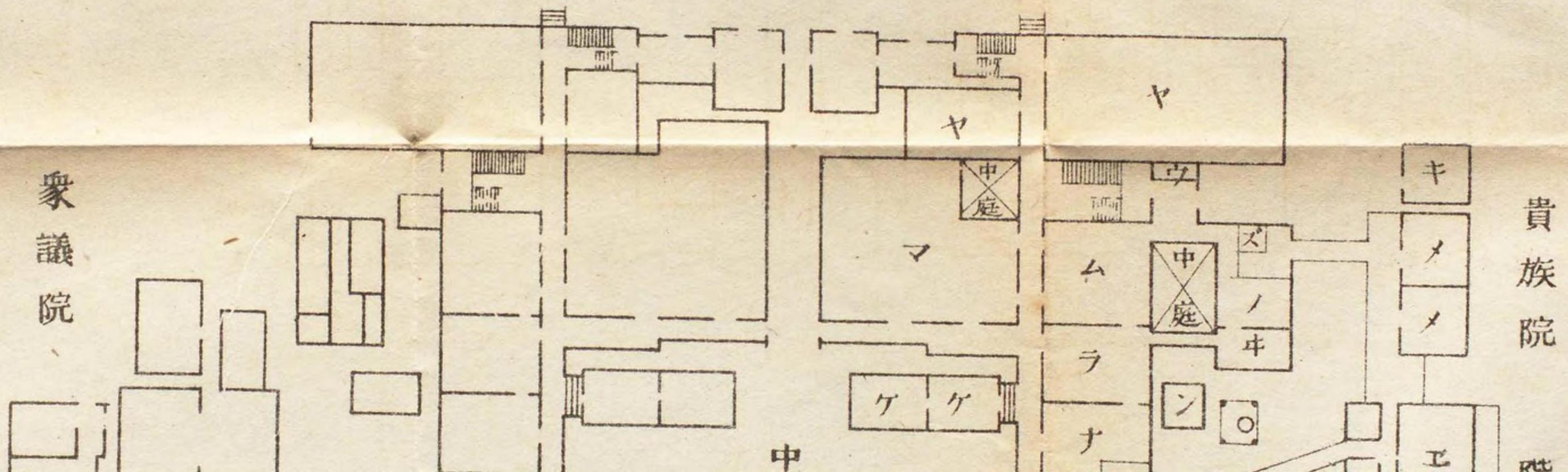
(兩議院建物圖之ヲ略ス)

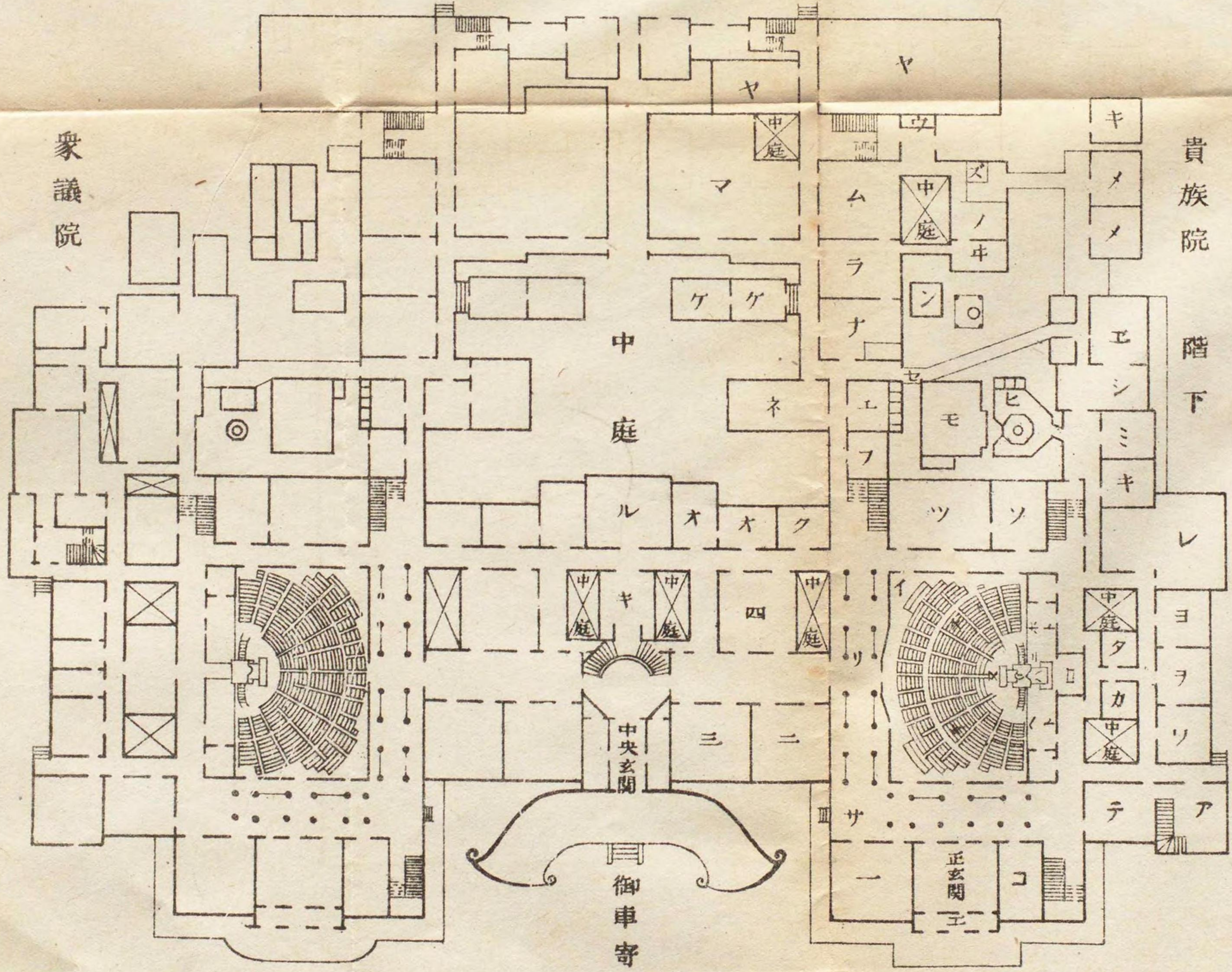
貴族院要覽(甲)終

貴族院議場及各室圖其一

(説明)

イ議場	ロ玉座	ハ議長席	ニ書記官長席	ホ國務大臣席	ヘ政府委員席	ト書記官席	チ議員席	リ演壇	ヌ速記者席	一第一部室	二第二部室	三第三部室	四第四部室	ル兩院協議室	ヲ議長應接室	カ面接所
ヨ書記官長室	タ醫員室	レ委員課	ソ書記官室	ツ議事課	ネ庶務課文書係	ナ同支室	ラ同圖書係	ム同會計係	ウ同支室	キ議員應接室	ノ應接室	オ政府委員室	ク新聞記者室	ヤ議員會食室	ケ文庫	フ整衣所
コ派出所官詰所	エ玄關議員昇降口	テ庶務課守衛係	ア傍聽人脱帽室	サ議員整衣所	キ物置	ユ議員便所	メ倉庫	ミ守衛宿直室	シ湯飲所	エ小使室	ヒ事務員便所	モ煖房汽罐室	セ職員昇降口	ス受付所	ン電働機取扱室	

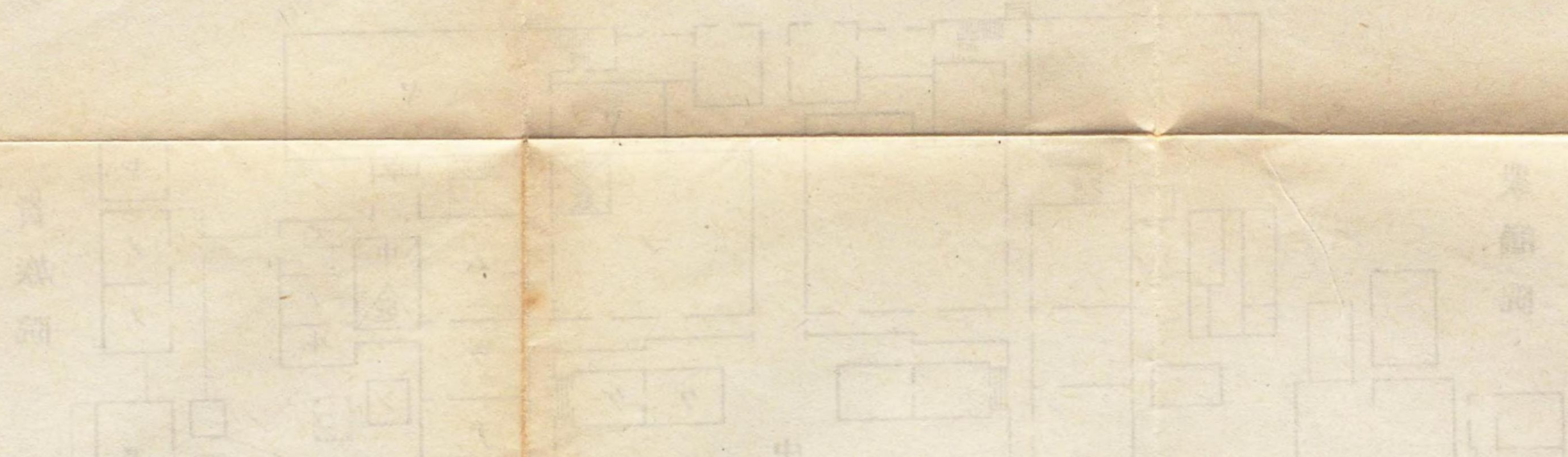




貴州通志卷之六 各軍圖具

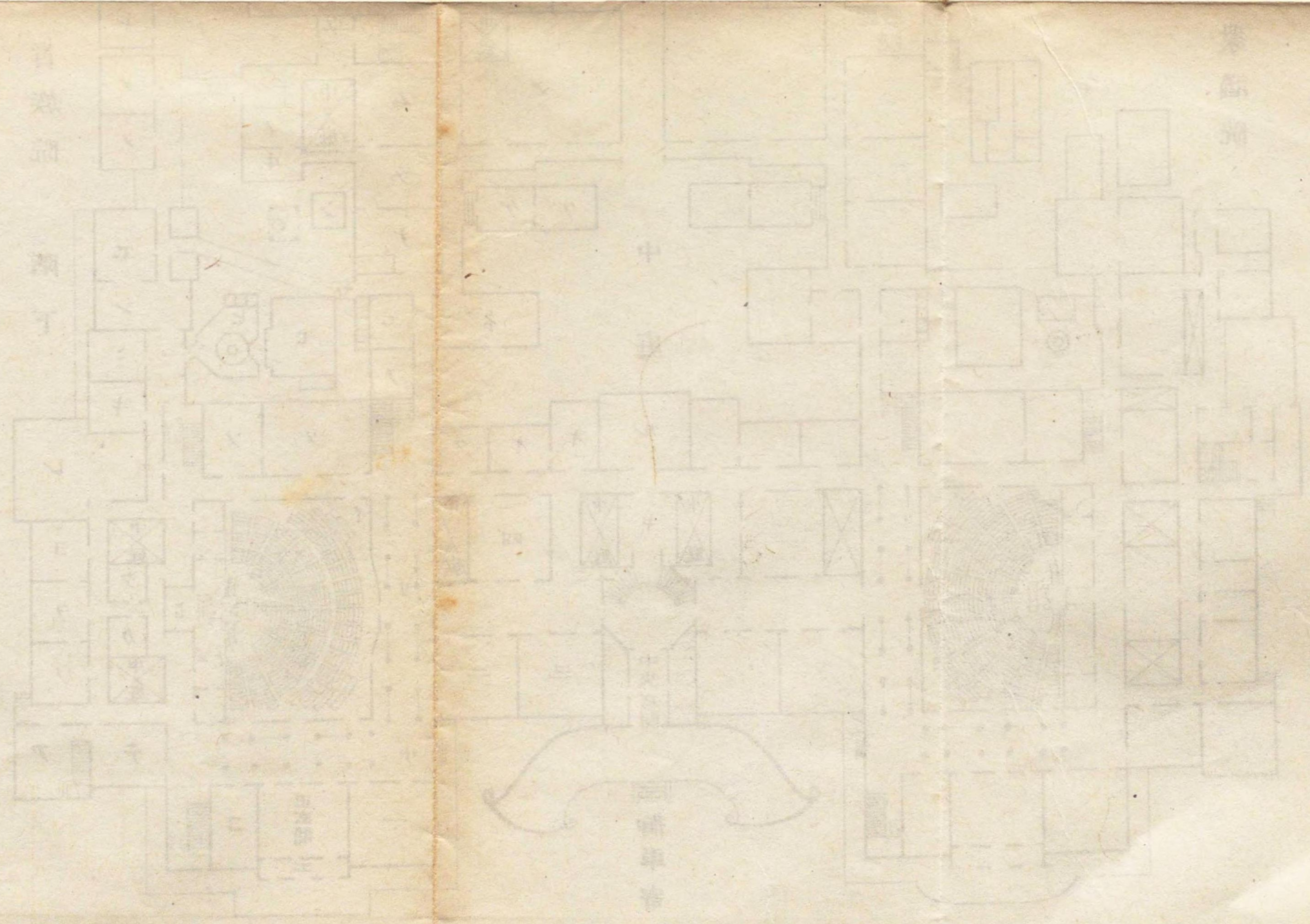
(世)

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----



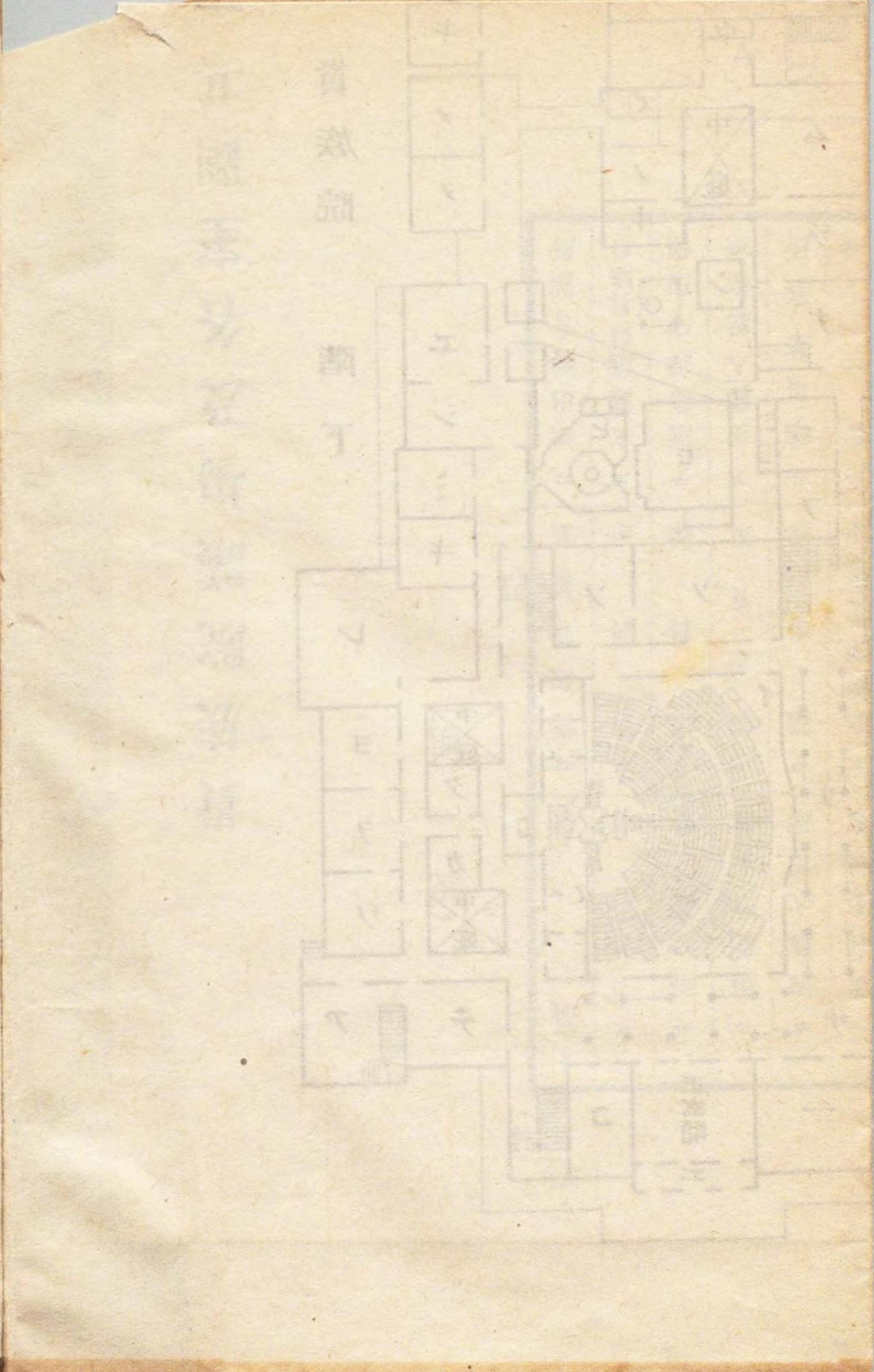
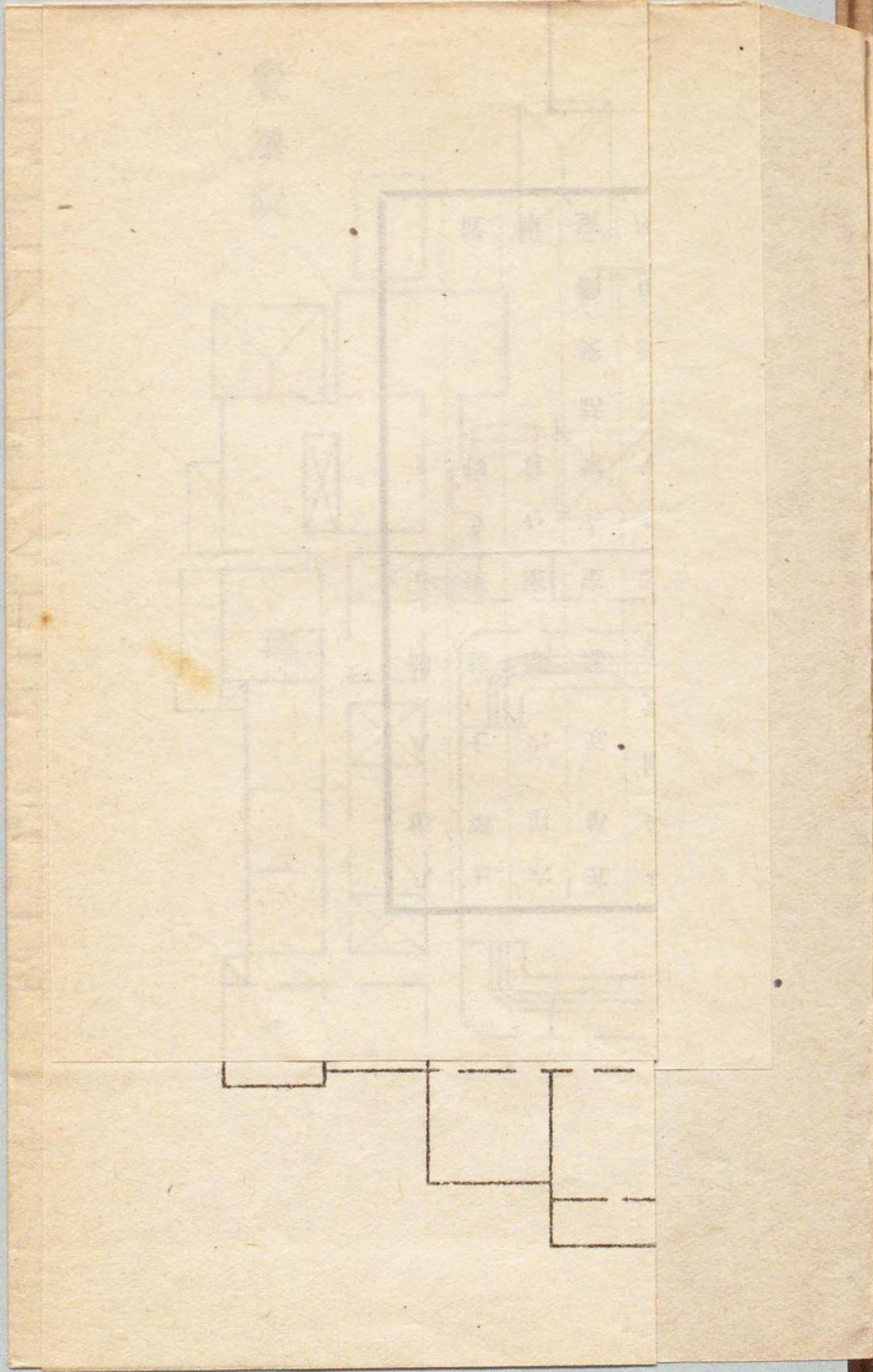
其
四

東
門
外
城
下



城
通
界

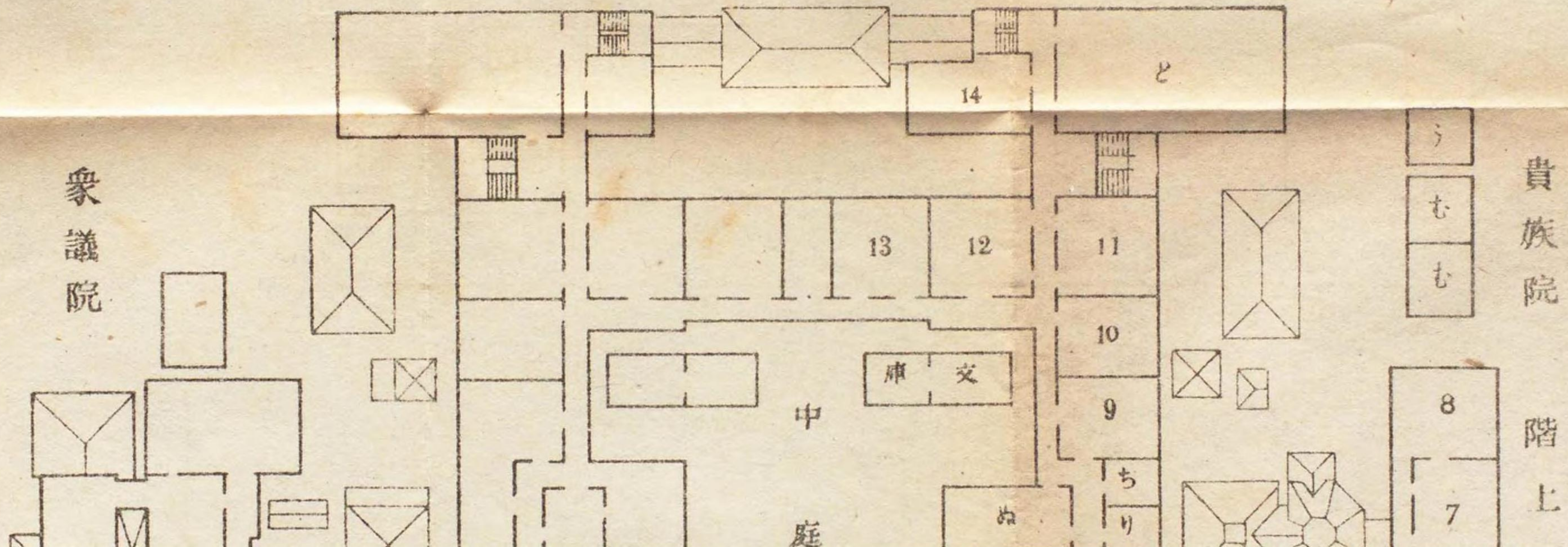
用
城
界



其二

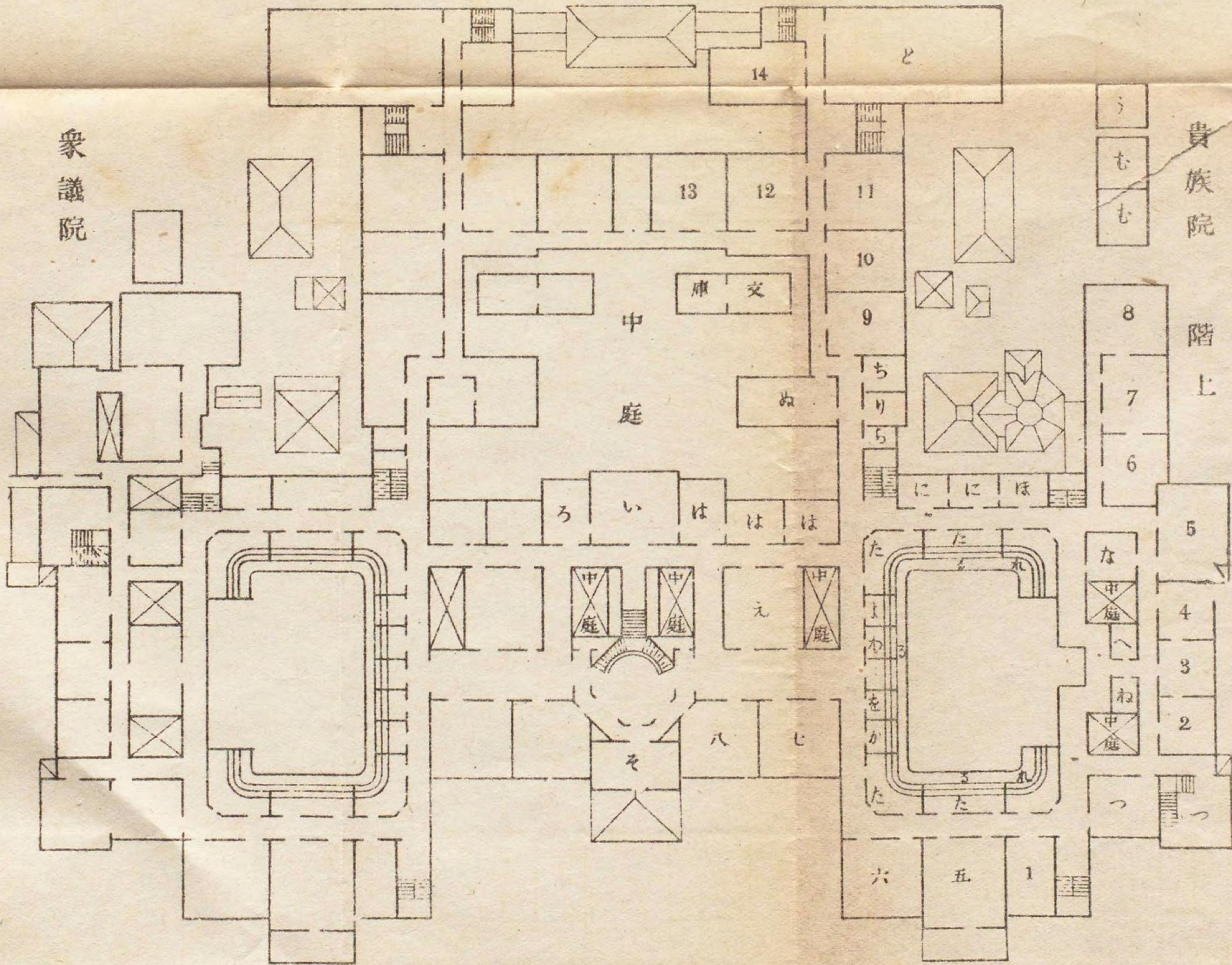
(説明)

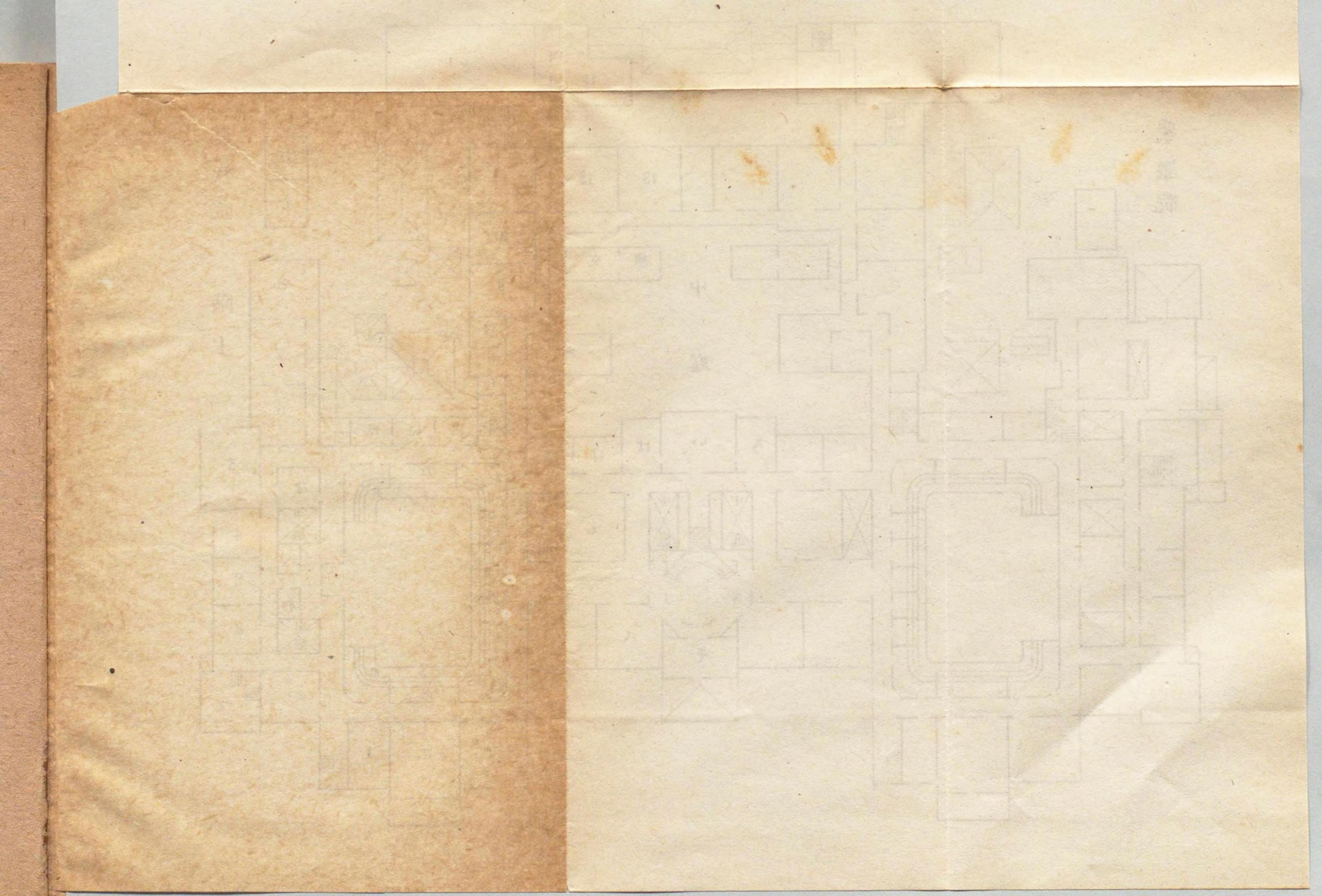
八第 八部 室	七第 七部 室	六第 六部 室	五第 五部 室	そ外 國貴 賓室	れ新 聞記 者席	た公 衆席	よ衆 議院 議員 席	か高 等官 席	わ外 國外 交官 席	を皇 族席	る傍 聴席	ぬ讀 書室	り喫 茶室	ち内 談室	と談 話室	へ庶 務課 支室	ほ同 附屬 室	に内 閣書 記官 室	は各 大臣 室	ろ皇 族室	い便 殿
	う物 置	む倉 庫	ら電 話交 換室	な守 衛派 出所	ね内 閣使 丁室	つ傍 聴人 控所	14第 十四 號委 員室	13第 十三 號委 員室	12第 十二 號委 員室	11第 十一 號委 員室	10第 十號 委員 室	9第 九號 委員 室	8第 八號 委員 室	7第 七號 委員 室	6第 六號 委員 室	5第 五號 委員 室 <small>(請願委員室)</small>	4第 四號 委員 室	3第 三號 委員 室	2第 二號 委員 室	1第 一號 委員 室	九第 九部 室



象議院

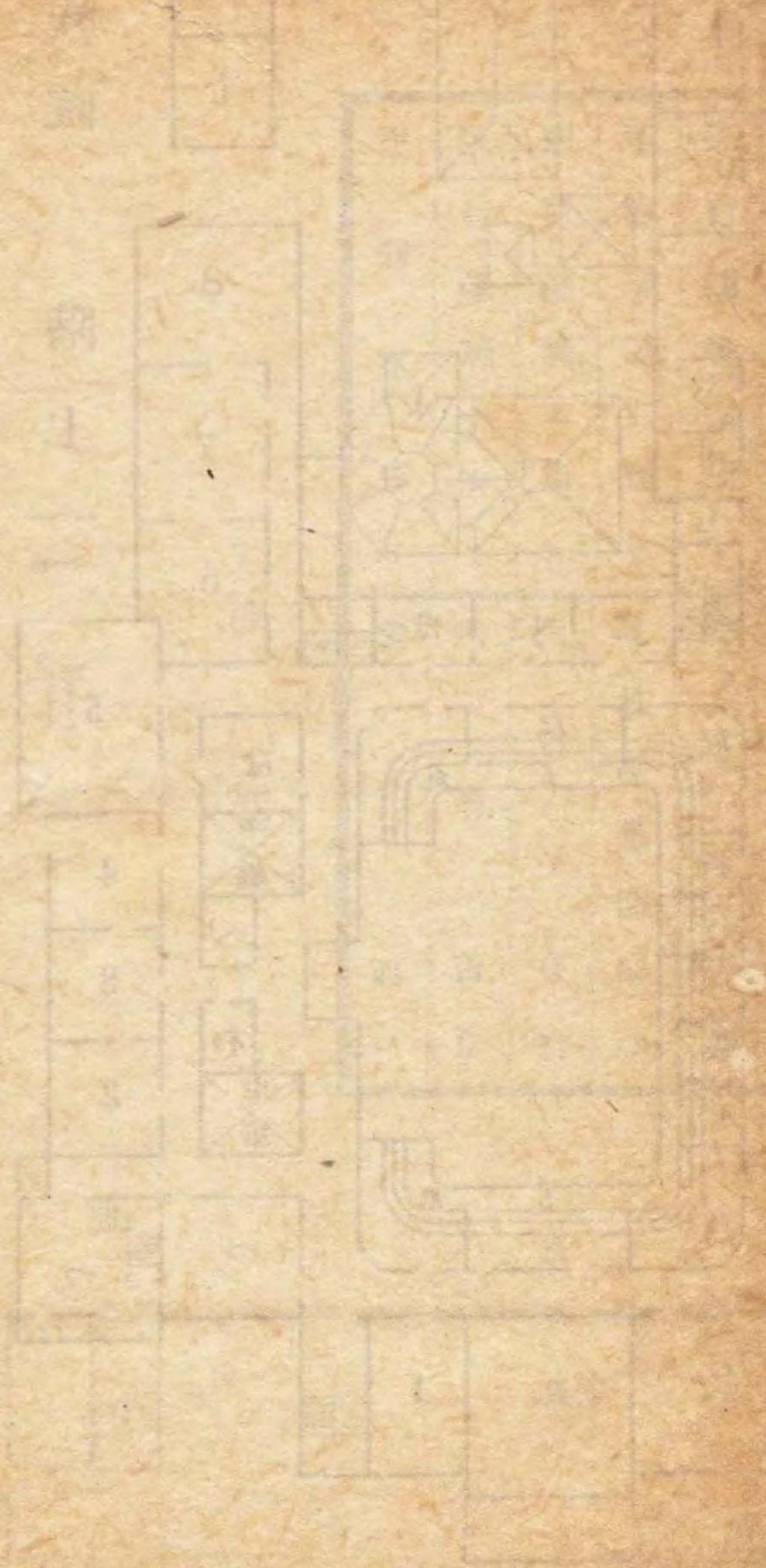
貴族院





(貴族院要覽(甲)附錄)

貴族院議事法規索引



貴族院議事法規索引凡例

- 一(憲)ハ憲法、(議)ハ議院法、(令)ハ貴族院令、(規)ハ貴族院規則、(豫)ハ豫算案議定細則、(決)ハ決算議定細則、(協)ハ兩院協議會規程、(資)ハ貴族院議員資格及選舉爭訟判決規則、(伯)ハ貴族院伯子男爵議員選舉規則、(多)ハ多額納稅者議員互選規則ノ略字トス
- 一數事項ニ涉リ關係ヲ有スルモノハ之ヲ各事項ノ下ニ重出ス例ヘハ議長ノ祕密會議ヲ發議シ得ルヤ否ヤハ「議長」「祕密會」及「發議」ノ各項ノ下ニ之ヲ索知シ得ルカ如シ但シ事ノ明瞭ニシテ他項ノ下ニ重出スルヲ要セサルモノハ之ヲ重モナル事項ノ下ニ掲クルニ止ル

貴族院議事法規索引

目次

○帝國議會	組織	一頁	部屬	二頁	○議員	通則	九頁
	召集	一頁	部長	二頁		闕席	九頁
	成立	一頁	理事	三頁		請暇	一〇頁
	開會	一頁	席次	三頁		辭職	一〇頁
	停會	一頁	○議長、副議長、假議長	三頁		出席停止	一〇頁
	閉會	一頁	議長ノ專行ニ屬スル	三頁		除名	一〇頁
	會期	二頁	場合	三頁		位列停止	一〇頁
	臨時會	二頁	必ス議院ノ議決ヲ經	七頁		歲費	一〇頁
	經費	二頁	ヘキ場合	七頁	○書記官長、書記官		
○貴族院			異議アルトキ議院ノ	七頁	書記官長	一〇頁	
			議長ヲ經ヘキ場合	八頁	書記官	一〇頁	
○部屬及席次			合	八頁			
			雜則	八頁			
			協議會議長、副議長、	九頁			
			假議長	九頁			

議事法規索引 目次

○委員、委員會

通則	一一頁
全院委員	一一頁
委員、委員會	一一頁
委員長	一一頁
常任委員、特別委員	一一頁
委員、委員會	一二頁
委員長、副委員長	一二頁
繼續委員	一三頁
分科、主查	一三頁
分科	一三頁
主查、副主查	一三頁
委員審查、付託	一三頁
委員少數者意見	一三頁
○會議	一四頁
通則	一四頁

開議、散會、延會、會議中止、議事中止

開議	一四頁
散會、延會	一四頁
會議中止	一四頁
議事中止	一四頁
議事日程	一四頁
發議、動議	一四頁
發議	一四頁
動議	一五頁
讀會	一五頁
朗讀	一五頁
發言	一六頁
通告	一六頁
演說	一六頁
討論	一七頁
質疑應答、注意喚起	一七頁
報告	一七頁

修正 表決

修正	一八頁
表決	一八頁
通則	一八頁
氏名點呼	一九頁
記名投票	一九頁
無名投票	一九頁
定規ノ贊成數	二〇頁
祕密會	二〇頁
○會議錄、議事錄、速記錄	二〇頁
會議錄	二二頁
議事錄	二二頁
速記錄	二二頁
○議案	二二頁
通則	二二頁
政府案	二二頁
議院提案	二二頁

議員提案

議員提案	二二頁
法律案	二二頁
豫算案	二二頁
憲法上ノ大權ニ基 、既定歳出外ニ件 歳出	二二頁
國債及豫算ニ定メ タルモノヲ除ク外 國庫ノ負擔トナル ヘキ契約	二三頁
決算	二三頁
○國務大臣及政 府委員	二三頁
○質問、答辯	二四頁
質問	二四頁
答辯	二四頁
○上奏、奉答	二四頁
○建議	二四頁
○請願	二五頁

○議院ト人民及官廳
地方議會トノ關係

○議院ト人民及官廳 地方議會トノ關係	二五頁
○資格審查	二六頁
通則	二六頁
出訴期限	二六頁
○懲罰	二六頁
通則	二七頁
守衛	二八頁
警察官吏	二八頁
○傍聽	二八頁
○兩院協議會	二九頁
○憲法、皇室典 範改正	三〇頁
○內部整理規則	三〇頁

○立法權

○立法權	三〇頁
○緊急勅令	三〇頁

そ	速記録	二二頁
つ	通告	一六頁
な	内部整理規則	三〇頁
む	無名投票	一九頁
く	會期	二頁
	會議通則	一四頁
	會議中止	一四頁
	會議錄	二一頁
け	經費	二頁
	關席	九頁
	繼續委員	一三頁

決算	二三頁	
建議	二四頁	
警察官吏	二八頁	
憲法、皇室典範改正	三〇頁	
ふ	部屬	二頁
	部長	二頁
	分科	二三頁
こ	國務大臣及政府委員	二三頁
	國債及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外 國庫ノ負擔トナル ヘキ契約	二三頁
え	演說	一六頁
	延會	一四頁

て	帝國議會組織	一頁
	停會	一頁
	定規ノ贊成數	二〇頁
さ	歳費	一〇頁
	散會	一四頁
	雜則	八頁
き	議員通則	九頁
	議院提出案	二二頁
	議員提出案	二二頁
	議院ト人民及官廳 地方議會トノ關係	二五頁
	議長、副議長、假議長	三頁
	議長ノ專行ニ屬スル場合	三頁
	議長ヲ經由スヘキ場合	八頁

議案通則	二一頁	
協議會議長、副議長、假議長	九頁	
貴族院	二頁	
記名投票	一九頁	
議事中止	一四頁	
議事日程	一四頁	
議事錄	二一頁	
既定歳出外二件歳出	二二頁	
紀律及警察、通則	二七頁	
緊急勅令	三〇頁	
し	召集	一頁
	出席停止	一〇頁
	書記官長	一〇頁
	書記官	一〇頁
	常任、特別委員、委員會	一二頁

常任、特別委員長、副委員長	一二頁	
査査 利査	一三頁	
質疑應答、注意	一七頁	
喚起	一八頁	
修正	一九頁	
氏名點呼	一九頁	
質問	二四頁	
資格審査通則	二六頁	
出訴期限	二六頁	
上奏、奉答	二四頁	
辭職	一〇頁	
出席停止	一〇頁	
守衛	二八頁	
ひ	祕密會	二〇頁
	表決通則	一八頁
せ	成立	一頁

席次	三頁
請暇	一〇頁
全院委員、委員會	一一頁
全院委員長	一一頁
政府案	二二頁
請願	二五頁

議事法規索引いろは別

目次

貴族院議事法規索引

○帝國議會

組織

(憲三三)。

召集

(憲七)天皇ハ議會ヲ召集ス。(憲四一)議會ハ毎年召集ス。(憲四三)臨時會。(憲四五)解散後ノ議會ハ五箇月以内ニ召集ス。(議一)召集ノ勅諭ハ四十日前ニ發布ス。(議二、規一、二)議員ノ參集。(議九九)議長ノ招狀、應セサル者ノ處分。

成立

(憲三三)帝國議會。(規一)貴族院。

開會

(憲七)天皇ハ開會ヲ命ス。(憲四四ノ一)兩院同時ニ行フ。(議五)開院式。

停會

(憲七)天皇ハ停會ヲ命ス。(憲四四)兩院ノ停會、貴族院ノ停會。(議三三ノ一)兩院ノ停會日數。(議三三ノ二、三四)兩院停會後ノ會議ニ於テハ前會ノ議事ヲ繼續ス。(規八九)

閉會

(憲七)天皇ハ閉會ヲ命ス。(憲四四ノ一)兩院同時ニ行フ。(議一一)閉會間ノ議長職務。(議三五)議案建議請願ノ議決ニ至ラサルモノハ閉會後ノ議會ニ繼續セス。(議三六)閉會式。

議事法規索引(帝國議會)

會期

(憲四二)三箇月。(憲四三ノ二)臨時會。(憲四四)延長ハ兩院同時ニ行フ

臨時會

(憲四三)。(規六)臨時會ノ部屬。

經費

(議一八)。

○貴族院

(憲三四、令一)組織。(議五)開院式々場。(令八)諮詢ニ應ヘ華族ノ特權ヲ議ス。(令九)資格及選舉ノ爭訟ヲ判決ス。同判決規則ハ上奏シテ裁可ヲ請フ。(令一二)貴族院令ニ定ムルモノノ外議院法ニ依ル。(令一三)貴族院令ノ改正ハ貴族院ノ議決ヲ要ス。(規一十)成立。

○部屬及席次

規三 部長

部屬

(議四、規五)分割。(議二〇ノ三、規一九、三〇)常任委員ノ選舉。(議九五ノ三)部ニ於

事 辭任 五

ケル懲罰事犯。(規六)通常會ノ部屬、臨時會ノ部屬。(規三五)常任委員ノ補闕選舉。(議二〇ノ四、規四七)特別委員ノ選舉。(規一六)部員ノ懲罰動議提出權。

部長

(議四、規七)互選。(議九五ノ三)部ニ於ケル懲罰事犯ノ處分要求。(規八)職務。(規一

規一三)部長理事俱故障ルトキ首席理事代理ス

七)全院委員長ニ代理ス。(規三)常任委員ノ當選者ヲ議長ニ報告ス。(規一五八ノ二)傍聽券ヲ部員ニ配付ス

理事

(規九、規一〇)理事ノ選舉。(規三)部長代理ス

席次

(規四)。

○議長、副議長、假議長

議長ノ專行ニ屬スル場合

(議一〇)秩序ノ保持、議事ノ整理、議院ノ代表。(議

種五 部屬 確定後、部屬 決定

一一)閉會中議院事務ノ指揮。(議一五)後任者勅任セララルマテノ繼職。(議一七ノ一)書記官長ハ議長ノ指揮ニ依リ事務ヲ提理ス。(規九七)議院規則疑義ノ裁決。(規一五四)秩序問題ノ裁決。

召集

(議九九)不參議員ノ招狀。(規三)召集ノ當日議員三分ノ一以上ニ充ルトキハ議長著席

成立

(規一十)議院成立ノ通報。「開會、閉會」(議六)開院式ノ場合ニ於ケル議長ノ職

務執行。(議一一)閉會中議院事務ノ指揮。「闕席、請暇」(議九九)闕席議員ノ招狀。(議八一)一

週間ニ超エサル請暇ノ許可。(議九九)請暇期限ヲ過キタル議員ノ招狀。「委員會、協議會」(議

一二)委員會ニ臨席發言スルヲ得。(規一八)全院委員會ノ發議。(規一九ノ二)全院委員會ノ期日

議事法規索引(議長、副議長、假議長)

ヲ定ム(即時ニ開會)。(規二四ノ二)同上(議事終局セ)。(規二〇)全院委員會ヲ開クトキハ議長退席
 七(規三五)全院委員會ノ解會。(規三九ノ四)秘密ト認ムル委員會報告書ノ印刷配付ノ停止。(議五
 七)協議會ニ出席シ發言スルヲ得。(協三)協議會初會ノ日時決定(兩院議長ノ協議ニ依ル)。「開議、散會、
 延會、會議中止、議事中止」(議八八)議場騷擾ナルトキハ會議ヲ中止シ又ハ閉鎖ス。(規五
 八)散會又ハ延會ノ宣告。(規五三)開議ノ宣告。(規五四)延會ノ宣告(議員定數ニ充)。(規五九)議事
 日程ニ時刻ヲ定メタル事件ノ會議ニ移ルトキハ議事ヲ中止ス。(規一七)懲罰ヲ犯アルトキハ會
 議ヲ中止シ又ハ犯人ヲ退場セシム。「議事日程」(議二六、規五七、六六)議事日程ノ調製報告。
 (規五九)議事日程ニ時刻ヲ定メタル事件ノ會議ニ移ル時ハ議事ヲ中止ス。「發議」(議三七、三
 八)秘密會ノ發議。(規七八)全院委員會ノ發議。「讀會」(規七三)逐條審議ノ順序變更。「朗讀」
 (規七三)議事ノ二、七〇ノ二、七〇ノ二)省略。「發言」(議一二)議長ハ委員會ニ臨席發言スルヲ得。(議
 五七)議長ハ協議會ニ出席發言スルヲ得。(規七九)議員發言ノ順序。(規八三)通告ヲ爲ササル者
 ノ發言ノ許可(規八三)發言ヲ求ムル先起立者ノ認定。(規八四)議席發言ノ許可。(規九五)答壇
 發言ノ命。「討論」(規九三)議長討論ニ與ルトキハ副議長代理ス。(規九三)議長討論ニ與リタル
 トキハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規九五)討論終局ノ宣告。(規九六)討論終局ノ後未タ議題

トナラサル修正案ノ報告。「報告」(議二六ノ一、規五七)議事日程。(規五三)開議前ノ報告。
 (規一八)議案受領ノ報告。(豫一)豫算案受領ノ報告。(決一)決算受領ノ報告。「表決」(憲四
 七)議院ノ議事ニ於ケル終決權。(規一〇〇)修正案表決ノ順序。(規一〇五)表決ニ付スヘキ問題
 ノ宣告。(規一〇六ノ一)起立表決結果ノ宣告。「記名投票」(規一〇七)記名投票ノ執行。(規一
 一三)投票結果ノ宣告。「無名投票」(規一〇九)無名投票ノ執行。(規一二三)投票結果ノ宣告。
 「印刷配付」(規三九ノ四、五〇)委員長報告(秘密ト認ムル)。(規五八)議事日程。(規六四)議
 案。(規一三三ノ一)請願文書表。(豫一)豫算案、(豫八)豫算委員長報告。(決一)決算。(決一〇)決
 算委員長報告。(資一〇)資格審査報告。「秘密會」(議三七、三八)秘密會ノ發議。(規一三五)
 傍聽人退場ノ命令。「議事録、速記録」(規一三九)署名捺印。(規一七三)取消ヲ命シタル發言
 ハ速記録ニ記載セズ。「議案」(議三一)議案ノ奏上。(規六四)議案ノ印刷配付。(規一三五)議案
 ノ傳達。(規一八四)議案受領ノ報告。(豫一)豫算案受領ノ報告及印刷配付。(決一)決算受領ノ報
 告及印刷配付。「豫算決算會議」(豫八)豫算委員長ノ報告アリタルトキハ豫算會議ヲ開ク。
 (豫一一)憲六七條ノ歳出廢除削減ニ付政府ノ同意要求ノ照會。(決一〇)決算委員長ノ報告アリ
 タルトキハ決算會議ヲ開ク。「質問」(議四八、四九)質問主意書ノ受理轉送。「上奏、奏上、奉
 議事法規索引(議長、副議長、假議長)

答(議三一)議案ノ奏上。(令一〇ノ二)議員除名ノ上奏。(規一七三)謁見ノ奏請。(資一二)議員無資格ノ奏上。(伯一六)伯子男爵議員ノ補闕上奏。(多二四)多額納稅者議員ノ補闕上奏。「建議」(規一七四)建議書ノ提出。「請願」(議六三ノ二)請願委員ニ於テ規定ニ合ハスト認メタル請願書ノ却下。(規一七五)請願文書表ノ印刷配付。「資格審査」(資三)訴狀ノ委員付託。(資八)資格審査ノ結果刑法ニ觸ルルノ事件ヲ發見シタルニ由リ司法大臣ヘ通告。(資九ノ二)答辯書差出方延期ノ許可。(資一〇)資格審査報告ノ配付、會議。(資一一ノ一)判決謄本ノ送達。(資一二)無資格議員ノ位列停止及奏上。「懲罰」(議九五ノ二)懲罰事犯ヲ委員ニ付ス、同宣告。(規一四三)不敬又ハ無禮ノ辭表ヲ懲罰委員ニ付ス。(規一七六)懲罰事犯アルトキ會議ノ中止又ハ犯人退場ノ命令。(規一七七)懲罰犯人辯明又ハ代理辯明ノ許可。(規一七九)制止又ハ取消ノ命ニ從ハサル者ヲ懲罰委員ニ付ス。(規一七八)出席停止ノ議員議場ニ入ルトキ處分。(規一八九)懲罰ノ宣告。(規一九〇)懲罰事犯ト認ムル言論公布ノ禁止。(令一〇ノ二)議員除名ノ上奏。「紀律及警察」(議一〇)秩序ノ保持、議事ノ整理、議院ノ代表。(議八五、規一四四、一四七)内部警察權ノ施行。(議八六)警察官吏ノ指揮。(議八七)警戒、制止、發言ノ取消及禁止、場外ヘ退去。(議八八)議場騷擾ナルニ因ル會議中止又ハ閉場。(議八九、規一四五)傍聽人ノ退場。(規一五三)號鈴。(規一五四)秩序問題

ノ裁決。

必ス議院ノ議決ヲ經ヘキ場合

(議二七)三讀會ノ順序省略ノ要求アリタルトキ。(議三七、三八)祕密會議ノ發議アリタルトキ。(議八一、規一四〇)一週間ヲ超ユル請願ノ許可。(議九五ノ二)懲罰事犯ノ宣告。(規一七三)全院委員會ヲ開クノ發議アリタルトキ。(規一七、五〇)議院ノ會議時間ニ於テ委員會開會ノ許可。(規六〇)議事日程ノ變更。(規一七四)第二讀會ノ開否。(規六九、七五)讀會期日ノ短縮。(規七六)第三讀會ニ於テ議案全體ノ可否。(規九六ノ二)

討論終局ノ動議表決。(規九六ノ一)討論終局後修正案ニ付討論ヲ開クヘキヤ否ヤノ表決。(規九六ノ一)討論終局ノ動議表決。(規二〇二ノ一)修正動議撤回ノ許可。(規一三三)請願至急ノ審査。(規一三三ノ二)請願書ノ印刷配付。(規一三七)請願書ノ朗讀。(規一四三)不敬無禮ノ言辭アル辭表ノ處分。(規一六九)懲罰ノ動議ヲ委員ニ付スルトキ。

異議アルトキ議院ノ決議ヲ經ヘキ場合

(規七三)逐條審議順序ノ變更ニ付異議アルトキ。(規一〇〇ノ一)修正案表決ノ順序ニ付異議アルトキ。(規一〇六ノ一)起立表決ノ結果ニ付異議アルトキ

(反對者ヲ起立セシメ仍異議アルトキハ氏名點呼ヲ用フ)。(規一〇六ノ二)氏名點呼ノ結果ニ付異議アルトキ(記名投票)。(規一七八)議事録記載ノ事實ニ對シ異議アルトキ。(規一七三)議事法規索引(議長、副議長、假議長)

(二)速記録ノ訂正ニ對シ異議アルトキ。

議長ヲ經由スヘキ場合

(議四四)委員會ヨリ政府委員ノ説明ヲ求ムルトキ。

(議四八、四九)議員ヨリ政府ニ對シ質問ヲ爲ストキ。(議五一ノ一)上奏。(規一四二)議員辭職ノ奏請。(規一七三)懲罰委員本人及關係議員ヲ召喚訊問スルトキ。(資七)資格審査委員ヨリ證憑文書ヲ政府ニ要求スルトキ。

雜則

(議七)議長副議長ハ各々一員トス。(議一三)議長故障アルトキハ副議長代理ス。(議一

二五
二四

假議長

四)假議長。(議一九)歳費。(議八二)闕席届ハ議長ニ差出ス。(議九〇)大臣、政府委員及議員ハ秩序ニ付議長ニ注意スルヲ得。(議九五ノ三)委員會又ハ部ニ於テ懲罰事犯アルトキハ議長ニ報告シ處分ヲ求ム。(令一一)任期。(規五ノ三)議長副議長ハ部員ノ中ニ入ラス(規二五)全院委員會終ルトキハ議長ノ出席ヲ求ム。(規二四ノ一)終ラサルトキ同上。(規二六)全院委員會ノ權限外ノ事件生スルトキハ議長ノ出席ヲ求ム。(規三七)常任委員當選者ハ部長ヨリ議長ニ報告ス。(規四七ノ二、一八五)特別委員及協議委員ノ選舉ハ議長ニ委任スルヲ得。(規六四)議案ハ議長ニ差出ス。(規七二ノ二、九八)第二讀會ノ前修正案ヲ議長ニ提出スルヲ得。(規七九)書記官ハ通告ヲ議長ニ報告ス。(規九九)討論ニ與リタル議長ハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規一五九)請假ノ許可ヲ得タ

假議長

トキハ議長ノ出席ヲ求ム。(規二四ノ一)終ラサルトキ同上。(規二六)全院委員會ノ權限外ノ事件生スルトキハ議長ノ出席ヲ求ム。(規三七)常任委員當選者ハ部長ヨリ議長ニ報告ス。(規四七ノ二、一八五)特別委員及協議委員ノ選舉ハ議長ニ委任スルヲ得。(規六四)議案ハ議長ニ差出ス。(規七二ノ二、九八)第二讀會ノ前修正案ヲ議長ニ提出スルヲ得。(規七九)書記官ハ通告ヲ議長ニ報告ス。(規九九)討論ニ與リタル議長ハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規一五九)請假ノ許可ヲ得タ

ル議員ハ出發及歸著届ヲ議長ニ差出ス。(規一七五)議長ノ職權ヲ侮辱シタルモノノ處分。(豫七)豫算委員長ノ報告ハ議長ニ提出ス。(決九、一〇)決算委員會ノ決議ハ議長ニ報告ス。(協一六)協議會ニ於テ懲罰事犯アルトキハ其ノ委員所屬議院ノ議長ニ報告シ處分ヲ求ム。(資三)訴狀ハ議長ニ差出ス。(資一〇)資格審査報告ハ議長ニ提出ス。

協議會議長、副議長、假議長

(議五九、六〇)。(規一八八)。(協六)。(協七)。(協八)。(協一二)。(協一三)。(協一六)。

○議員

假議長選舉ヲ行フヘキ
規五 全院委員長故障アルトキ又ハ其ノ選舉前首席者職務

通則

(憲三四、令一)貴族院議員ノ種類。(憲三六、議七六)兩院ノ議員タルヲ得ス。(憲五二)發言及表決ニ付特權。(憲五三)逮捕ニ付特權。(議一九)歳費及旅費。(議四二)大臣及政府委員ノ發言ハ委員ノ演説ヲ中止セス。(令二)皇族。(令三)公侯爵。(令四)伯子男爵。(伯一七)同補闕議員。(令五)勅選議員。(令六)多額納稅者議員。(多二五)同補闕議員。(令七)勅選及多額納稅者議員ノ數。(規五八、五九)委員會ハ議員ノ意見ヲ聞クヲ得。(規九四)敬稱。(規一四八)服裝。

闕席

(議八二)届。(議九九)議長ノ招狀、應セサル者ノ處分。

議事法規索引(議員)

請暇

(議八一)許可。(議九九)期限經過ニ付議長ノ招狀、應セサル者ノ處分。(規一三八)請暇書、闕席届書。(規一五九)出發及歸著届書。(規一四〇)追加請暇書。(規一四一)請暇許可ノ失效。

辭職

(規一四三、一四三)

出席停止

(議九六)規一七五—一八〇)懲罰ニ由ルモノ。(議九九)議長ノ招狀ニ應セサルニ由ルモノ。

除名

(議九六)。(令一〇〇)。(規一七九—一八〇)。

位列停止

(議八〇)。(資一二)。(資一三)。

歳費

(議一九)。

○書記官長、書記官

書記官長

(議一六)。(議一七)職務。(規一八)議事録ニ對シ議員ノ異議アルトキ答辯。

書記官

(議一六)。(議一七)職務。(規五)部屬ノ抽籤。(規二七)全院委員會ニ於テハ書記官長ノ職務ヲ行フ。(規七八、七九)通告、發言表。(規一〇六)氏名點呼。(規一九)議事録ノ署名捺印(書記官長代)。(規一八三)衆議院へ議案傳達。(協一四)協議會議事録ノ掌理。

席ニ著キ其ノ

○委員、委員會

通則

(議二〇)種類。(議二四)經過及結果報告。(議四三)大臣及政府委員ハ何時ニテモ委員會ニ出席シ發言スルヲ得。(議四四)委員ヨリ政府委員ノ説明ヲ求ムルヲ得。(議九五)懲罰委員、同審査、委員會ニ於ケル懲罰事犯。(規一)委員會ノ審査權限。(規一)委員ハ委員會ニテ幾回ニテモ發言スルヲ得。(規一五)委員會ノ表決定數(過半)委員長ノ終決權。(規一六七)懲罰事犯ニ因ル委員會ノ中止。(規一七八)委員ノ懲罰動議提出權。(規一七七)出席ヲ停止セラレタル委員ハ解任ス。

全院委員

「委員、委員會」(議二〇ノ二)組織。(議二二)開議定數(三分ノ一以上)。(規一八)

全院委員會ヲ開クノ發議(議長又ハ十人以上發議)。(規一八、一九、二〇)開議ノ手續。(規二)於ケル動議(一人以上)。(規二)自ら規則ヲ議決スルヲ得ス。(規二)自ら延會スルヲ得ス、議事終局セサルトキノ手續。(規二五)議長ノ解會權。(規二七)書記官ハ書記官長ノ職務ヲ行フ。「委員長」(議二一、規一八)任期、選舉。(議二四、規二五、二六)經過及結果報告。(規二七)故障アルト

キハ部長代理ヲ。(規二〇ノ二)席。(規二〇ノ三)全院委員會ノ權限外ノ事件生スルトキ議長ノ出席ヲ求メテ退席ス。假議長選舉不行ノ場合ハ首席議員ノ代理ス。

常任委員、特別委員

「常任委員、委員會」(議一二)議長ハ臨席發言スルヲ得、表決ノ數ニ入ラス。(議二〇ノ三、規一九ノ三、三〇ノ三、三三ノ七)組織、分科、選舉、任期。(議二二)開議定數(半數)以上。(議二三)議員ノ外傍聽ヲ禁ス、議員ノ傍聽ヲ禁スルヲ得。(議四六)大臣及政府委員ヘ開會ノ通知。(規二六)種類及委員ノ數。(規三三)當選報告。(規三三)補闕選舉。(規三九)辭任。(規三五)

三五ノ一)正副委員長互選。(規三六)開會ノ期日。(規三七)開會ノ時間。(規三三)議員ノ意見ヲ聞クヲ得。(規三九)報告。(規四〇)審査期限。(規四七)改選。(規四七)少數者意見ノ提出。(規四三、四四)會議錄。(規四九)分科主査。「特別委員、委員會」(議二〇ノ三、規四七)組織、選舉、同上委任。(議二二)開議定數(半數)以上。(議二三)議員ノ外傍聽ヲ禁ス、議員ノ傍聽ヲ禁スルヲ得。(議四六)大臣及政府委員ヘ開會ノ通知。(規四六)委員ノ數。(規四九)連繫事件。(規四九)再付託、改選。(規五〇)辭任、正副委員長互選、開會ノ期日、同上時間、議員ノ意見諮問、報告、審査期限、改選、少數者意見ノ提出、會議錄。「委員長、副委員長(常任)」「(議二二、規三五)互選。(議二四)經過及結果報告。(議四六)大臣及政府委員ヘ開會ノ通知。(議九五ノ三)委員會ニ於ケル懲罰事犯處分ノ同上説明

互選前ハ首席委員之當

互選前ハ首席委員之當

委員長、副委員長、(議二二、規三五)互選。(議二四)經過及結果報告。(議四六)大臣及政府委員ヘ開會ノ通知。(議九五ノ三)委員會ニ於ケル懲罰事犯處分ノ同上説明

委員長、副委員長、(議二二、規三五)互選。(議二四)經過及結果報告。(議四六)大臣及政府委員ヘ開會ノ通知。(議九五ノ三)委員會ニ於ケル懲罰事犯處分ノ同上説明

再審査
再審査
再審査

要求。(規一四)委員會ノ整理。(規一五)終決權、討議權。(規三五)副委員長。(規三六)委員會ノ期日決定。(規三九ノ一、二、三)報告。(規四四)會議錄ノ署名捺印。(規八九ノ一)報告ノ趣旨辯説明ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(規九ノ二)理由書又ハ報告書ヲ朗讀スルヲ得。(規一六七)懲罰事犯アルトキハ委員會ヲ中止スルヲ得。

繼續委員

(議一九ノ四)于當。(議二五)設置。(議三五)議案ノ繼續。

分科主査

「分科」(規四八ノ一)。(豫四一六)豫算。(決二一五)決算。「主査」(規四

委員審査、付託

(議二八)政府ノ要求ニ依ル審査省略。(規七八)政府案、衆議院提出案及議員提出案ノ審査。(規一七)審査ノ權限。(規四〇)審査期限。(規四九)連繫事件(規四九)再付

査

託。(規九六)討論終局後委員付託ノ動議ヲ提出スルヲ得。(議六三)請願ノ審査。(規一五〇)同

審査順序。(規一五)同時日ヲ限ル付託。(議九五)懲罰事犯ノ審査。(規一四三)不敬ノ辭表ハ懲罰委員ニ付ス。(規一五、豫二一七、一四)豫算ノ審査。(規一五六)豫算中必要事項ニ付再付託。(決三一九)決算ノ審査。資一、三、五、七、八、九、一三ノ二)資格審査。

委員少數者意見

(規四三、五〇)

議事法規索引(委員、委員會)

○會議

通則 (憲四八)公開及秘密會。

開議、散會、延會、會議中止、議事中止 [開議](憲四六)定數(三分ノ一以上)。

(憲七三ノ二)憲法改正ノ會議定數(三分ノ二以上)。(規五十一)開議ノ時刻、(規五十一)開議ノ手續。「散會、

延會」(議八八)議場騷擾ナルニ因ル延會。(規五十一)議事終了ニ因ル散會、午後四時ヲ過クルニ因

ル延會。(規五四)定數ヲ缺クニ因ル延會。(規八十八)延會後ノ會議ニ於ケル前發言ノ繼續。「會議

中止、議事中止」(議八八)議場騷擾ナルニ因ル會議中止。(規五十九)議案ノ會議時刻ヲ定メタル

ニ因ル議事中止。(規八十八)議事中止後ノ會議ニ於ケル前發言ノ繼續。(規一七)懲罰事犯アルニ

因ル會議中止。

議事日程 (議二六ノ一、規五十七)議院へ報告。(議二六ノ二、規五十六、六十六、六十八)調製、次

序。(議四七、規五十八)配、送付、官報掲載。(規十九ノ二)即時ニ開會セサル全院委員會ノ期日ハ議事

日程ニ記載ス。(規二四ノ二)全院委員會ノ議事終局セサルトキハ次會ノ期日ヲ議事日程ニ記載

ス。(規六〇)議事日程ノ變更。(規六十九)衆議院ノ議ニ付シタル事件ハ議事日程ニ記載スルヲ得ス。

發議、動議 [發議](議二九)議案並修正動議ノ發議(二十人以上)。(議三七)秘密會ノ發議

ノ發議手續。(規七十一)發議者議案ノ辯明。(規八十九ノ二)同上ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ得。「動

議」(議二九)議案修正ノ動議(二十人以上)。(議四一)豫算案修正ノ動議(三十人以上)。(議五〇)質問

ノ件ニ付建議ノ動議。(議五二)上奏又ハ建議ノ動議(三十人以上)。(議五十六ノ二)協議會成案ニ對シ

修正ノ動議ヲ爲スヲ得ス。(議九十八)懲罰ノ動議(二十人以上)同提出期限(三日)。(規二十一)全院委

員會ニ於ケル動議(一人以上)。(規五)特別ノ規定ナキ動議(一人以上)。(規七十七)二讀會ニ於ケル修

正動議。(規七十七)三讀會ニ於ケル修正動議。(規九十九ノ二)動議者ハ辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ

得。(規九十九ノ一、二)討論終局ノ動議(二十人以上)。(規九十九ノ四)委員付託ノ動議。(規九十九ノ五)討

論ニ入ルヘシトノ動議定數(二十人以上)。(規一七)委員又ハ部員ノ懲罰動議提出權。(規一七)

懲罰動議委員付託ノ表決ハ討論ヲ用弗ス。

讀會 (議二七)省略ノ要求。(規一七)第一讀會。(規一七)第二讀會。(規七

四一七七)第三讀會。(規一七)豫算ハ三讀會ヲ經ルヲ要セス。(規一八)衆議院回付案及協議

會成案ハ第三讀會ヲ經ルヲ要セス。

朗讀 (規一七)第一讀會。(規七〇)第二讀會。(規七四)第三讀會。(規九十九)意見書、引證文

議事法規索引(會議)

(規七)發議
案撤回!

(規七)發議案、撤回!

(規七五)
三讀會
議案

書、理由書、報告書ヲ朗讀。(規一三七)請願書ノ朗讀。

發言

(憲五二)發言ニ付議員ノ特權。(憲五四、議四二)大臣及政府委員ハ何時ニテモ發言ス

ルヲ得。(規八六)同上其ノ席ニテ發言ス。(議八〇、規九〇、資一三ノ一)資格ニ付異議アル議員及

懲罰事犯アリト告ケラレタル議員ハ發言ノ權ヲ失ハス、數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(議八七)議長ハ

發言ヲ取消サシメ又ハ禁止スルヲ得。(議九一)皇室ニ對シ不敬ノ言語ヲ爲スヲ得ス。(議九二)無

禮ノ語、他人ノ身上ニ涉ル言論ヲ爲スヲ得ス。(規五三、八七)發言ノ開始。(規九五)同終結。(規七八

八八)通告。(規八六)通告ヲ爲ササル議員發言ノ許可。(規八七)二人以上發言ヲ求ムル場合。(規

八八)延會又ハ議事中止後ノ會議ニ於ケル發言ノ繼續。(規九四、九五)發言ハ演壇ニ於テス。(規

九六)發言ハ二回ニ及フヲ得ス、質疑應答及注意喚起ハ此ノ限ニ在ラス。(規八九)委員長、報告者、

大臣、政府委員、發議者、動議者ハ數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(規九四)議員ヲ呼フニ敬稱ヲ用ウ。(規

九六)討論再開ト看做ス發言。(規一〇五ノ二)議決ニ付スヘキ問題宣告セラレタル後ハ發言

スルヲ得ス。(規一三三)取消ヲ命シタル發言ハ速記録ニ記載セス。

通告

(規七八、八七)

演說

(議四二)大臣及政府委員ノ發言ハ議員ノ演說ヲ中止セス。(議九二)無禮ノ語、他人ノ

討論

(規八七)議題外ニ涉ルヲ得ス。(規九二)議長討論ニ與ル場合ハ副議長著席ス。(規九

九三)議長討論ニ與リタルトキハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規九五)議長ハ討論終局ヲ宣告ス。

(規九六ノ一、二)討論終局ノ動議(二十人以上)。(規九六ノ三)討論終局後修正案ノ議事。(規九六ノ

四)討論終局後委員付託ノ動議。(規九六ノ五)大臣又ハ政府委員ノ發言ハ議事ヲ再開ス。(規九六

ノ五)討論終局ノ動議(二十人以上)。(討論ヲ用弗スシテ表決ニ付スヘキ場

合)。(議三八)秘密會ノ發議。(規六〇)議事日程變更ノ動議、(規七三)逐條審議ノ順序變更ニ付異

議アルトキ。(規九六ノ一)討論終局ノ動議。(規九六ノ三)討論終局後修正案ニ付討論ヲ開クヘキ

ヤ否ヤノ表決。(規九六ノ六)討論ヲ入ルベシトノ動議。(規一〇〇ノ一)修正案表決ノ順序ニ付異

議アルトキ。(規一〇一)議事録ニ關シ書記官長ノ答辯ニ服セズ又ハ議長ノ處置ニ對シ異議アル

トキ。(規一〇二)速記録訂正ニ對シ異議アルトキ。(規一〇七)請願書朗讀ノ要求アルトキ。

(規一〇九)懲罰ノ動議。

質疑應答、注意喚起 (規八四、一〇五)

報告 (議二四)委員會經過及結果報告。(議二六ノ一、規五七)議事日程ノ報告。(議四七)報

議事法規索引(會議)

十七

告ノ配、送付。(議六四、規一三四—一三六)請願委員報告。(規二五、二四)全院委員會結果及經過報告。(規三四、四五)常任、特別委員報告。(規四五、二)主査ハ委員長報告ヲ補助スルヲ得(規五九)議長ノ通信報告。(規九五)報告ノ趣旨辯明ノ發言。(規九ノ二)報告書ノ朗讀。(規一八九)衆議院ヨリ議案受領ノ報告。(規一八六、一八七)協議會報告。(豫一)豫算案受領ノ報告。(豫五、六)豫算委員主査報告。(豫七、八)豫算委員報告書。(豫一四)豫算案整理報告。(決一)決算受領ノ報告。(決四、六)決算委員主査報告。(決八、九、一〇)決算委員報告。(決一一)決算會議ニ於テハ委員長ノ報告ヲ議題トス。(資九、一〇)資格審查結果報告。

修正

(議二九)修正動議(二十人以上)。(議三〇、五四)政府案ノ修正。(議四一)豫算案修正動議(三十人以上)。(議五五、一)修正案ノ回付。(議五六、二)協議會成案ハ修正スルヲ得ス。(規七)第二讀會修正。(規七)委員ノ修正ハ贊成ヲ待タスシテ議題トナル。(規七)第三讀會修正。(規九六、三)討論終局後ノ修正。(規九八)修正動議提出ノ手續。(規九九、一〇〇)數箇ノ修正案アル場合ニ表決ノ順序。(規一〇一)修正動議ノ撤回、同上繼續。(規一〇二)修正案總テ否決ノ場合ハ原案ニ就キ採決ス。(規一八六)回付案ヲ議スルハ三讀會ヲ要セス。(豫一五)豫算案ノ回付。

表決

〔通則〕(憲四六、四七)議院ノ議決(三分ノ一以上出) 議長ノ終決權。(憲五二)表決ニ付議員ノ特權。(憲七三、二)憲法改正ノ議決(三分ノ二以上)。(議一二)委員會ニ於テ議長ハ表決ノ數ニ入ラス。(規一五、一)委員會ノ議決(過半) 委員長ノ終決權。(議二七)讀會省略ノ議決(三分以上)。(議四五)大臣及政府委員ハ議員タル者ノ外表決ノ數ニ入ラス。(議八〇)資格ニ付異議アル議員ハ表決ノ數ニ入ラス。(規九三)議長討論ニ與リタルトキハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規一〇〇)修正案表決ノ順序。(規一〇一)修正案總テ否決ノ場合ハ原案ニ就キ採決ス。(規一〇二)表決ノ條件ヲ付スルヲ得ス。(規一〇四)現在セサル議員ハ表決ノ數ニ入ラス。(規一〇五)表決ニ付スヘキ問題ノ宣告。(規一〇六)可トスル者起立、反對者起立、氏名點呼。(規一〇七、一〇八)記名投票。(規一〇九、一一〇)無名投票。(規一一一)議場閉鎖。(規一一二)投票ノ結果宣告。(規一二三)表決ノ更正ヲ許サス。(議五九)協議會ノ表決ハ無名投票ヲ用ウ、議長ノ終決權。(協六)協議會ニ於テ甲院ノ出席委員乙院ノ出席委員ヨリ多キトキ表決ノ方法。(協一一)協議會ノ議決(過半)。(資一三、一)被告議員ハ表決ノ數ニ入ラス。〔氏名點呼〕(規一〇六)。(規一一一)〔記名投票〕(規一〇九、一一〇)。(規一一一)〔無記名投票〕(議五九)協議會。(規一〇九、一一一)議院。

規二五表決
順序ニ付異議アルトキ。

決ニ付議員ノ特權。(憲七三、二)憲法改正ノ議決(三分ノ二以上)。(議一二)委員會ニ於テ議長ハ表決ノ數ニ入ラス。(規一五、一)委員會ノ議決(過半) 委員長ノ終決權。(議二七)讀會省略ノ議決(三分以上)。(議四五)大臣及政府委員ハ議員タル者ノ外表決ノ數ニ入ラス。(議八〇)資格ニ付異議アル議員ハ表決ノ數ニ入ラス。(規九三)議長討論ニ與リタルトキハ表決マテ復席スルヲ得ス。(規一〇〇)修正案表決ノ順序。(規一〇一)修正案總テ否決ノ場合ハ原案ニ就キ採決ス。(規一〇二)表決ノ條件ヲ付スルヲ得ス。(規一〇四)現在セサル議員ハ表決ノ數ニ入ラス。(規一〇五)表決ニ付スヘキ問題ノ宣告。(規一〇六)可トスル者起立、反對者起立、氏名點呼。(規一〇七、一〇八)記名投票。(規一〇九、一一〇)無名投票。(規一一一)議場閉鎖。(規一一二)投票ノ結果宣告。(規一二三)表決ノ更正ヲ許サス。(議五九)協議會ノ表決ハ無名投票ヲ用ウ、議長ノ終決權。(協六)協議會ニ於テ甲院ノ出席委員乙院ノ出席委員ヨリ多キトキ表決ノ方法。(協一一)協議會ノ議決(過半)。(資一三、一)被告議員ハ表決ノ數ニ入ラス。〔氏名點呼〕(規一〇六)。(規一一一)〔記名投票〕(規一〇九、一一〇)。(規一一一)〔無記名投票〕(議五九)協議會。(規一〇九、一一一)議院。

議事法規索引(定規ノ贊成數○秘密會)

○定規ノ贊成數

(議二七)讀會省略ノ要求(政府又ハ十人以上要求)。(議二九)議案ノ發議修正ノ動議(二十人以上)。(議三七)秘密會ノ發議(議長又ハ十人以上發議)。(議四一)豫算案修正ノ動議(三十人以上)。(議四八ノ一)質問(三十人以上)。(議五二)上奏又ハ建議ノ動議(三十人以上)。(議六四ノ二)請願事件討議ノ要求(三十人以上)。(議九八ノ一)懲罰ノ動議(二十人以上)。(規一三)全院委員會ヲ開クノ發議(議長又ハ十人以上發議)。(規二六)全院委員會ニ於ケル動議(二十人以上)。(規六五)特別ノ規定ナキ動議(一人以上)。(規九六ノ一)討論終局ノ動議(二十人以上)。(規九七)討論ニ入ルヘシトシテノ動議(二十人以上)。(規一〇六ノ一)可トスル者起立ノ結果ニ付異議(十人以上)否トスル者起立ノ結果ニ付異議(七人以上)。(規一〇六ノ二)氏名點呼ノ結果ニ付異議(二十人以上)。(規一〇七)記名投票ノ要求(議長必要ト認ムルトキ)。(規一〇九)無記名投票ノ要求(議長必要ト認ムルトキ)。(又ハ二十人以上要求)。

○秘密會

(憲四八、議三七、三八)手續。(議三九)秘密會議ハ刊行スルヲ得ス。(議三八、規一四五)傍聽人退場。(規一七〇)懲罰事犯ノ議事ハ秘密會ニ於テス。

○會議錄、議事錄、速記錄

會議錄 (規四九)委員會會議錄。
議事錄 (議一七ノ二)書記官。(規一七)記載事項。(規一八)議事錄ノ事實ニ付議員ノ異議アルトキ。(規一七)署名捺印。(協一三、一四、一五)協議會議事錄。
速記錄 (規一三三)取消ヲ命セラレタル發言ハ記載セス。(規一三五)訂正。(協一三、一五)協議會速記錄。

○議案

通則 (議二九)發議及修正ノ動議(二十人以上)。(議三一)奏上、否決、通知。(議三二)裁可。(議三五)議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス。(議五五)回付、協議會。(規六四)印刷配付。(規六七)第一讀會(規七八)委員付託、廢棄。(規七〇)第二讀會。(規七二、七三、七七)修正。(規七四、七六)第三讀會。(規八九)辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(規一〇五、一〇六)奏上支例。(規一〇七)衆議院ヘ送付。(規一〇八)衆議院ヨリ受領ノ報告。

政府案

(議二八、規一〇八)委員審査、政府ノ要求ニ由ル同省略。(議三〇)政府ハ何時ニテ議事法規索引(會議錄、議事錄、速記錄○議案)

規
 七
 逐條審
 議
 閣
 五
 異
 議
 贊
 成
 數

規
 三
 五
 逐條審
 議
 閣
 五
 異
 議
 贊
 成
 數

規
 三
 七
 三
 〇
 六

モ修正シ又ハ撤回スルヲ得。(議五三)提出ハ貴衆兩院何レニテモ先ニスルヲ得。(議五四)可否決。

議院提出案

(議五四)否決。(規六八)委員付託。

議員提出案

(規六八ノ三)。

法律案

(憲三七)。(憲三八)議院ノ議決及提出權。(憲三九)否決セラレタル法律案ハ同會期中ニ再ヒ提出スルヲ得ス。(議二七)三讀會。(議三二)裁可。(規六四)發議手續。

豫算案

(憲六四)協贊、款項超過、豫算外支出。(憲六五)衆議院ノ先議權。(憲六六)皇室經費。(憲六七)憲法上ノ大權ニ基ク既定ノ歳出外二件歳出。(憲六八)繼續費。(憲七一)不成立。(議四〇)衆議院委員ノ審査期限。(議四一)修正動議(三十八人以上贊成)。(規三八)委員ノ數。(規六四)三讀會ヲ經ルヲ要セス。(規一五)委員分科會、同總會。(規一七)委員再付託、(豫一)受領報告、印刷配付。(豫二)審査期限。(豫三、九)審査順序。(豫四、五)分科審査。(豫六)主查報告及説明。(豫七、八)委員審査報告書。(豫一〇)十一三)憲六七條歳出ノ廢除削減。(豫一四)議案整理。(豫一五)修正回付。

憲法上ノ大權ニ基ク既定歳出外二件歳出

(憲六七、豫一〇—一

三)廢除削減。

國債及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔トナル

ヘキ契約 (憲六二ノ三)。

決算

(憲七二ノ一)提出。(規一八)委員ノ數。(決一)受領、報告、印刷配付。(決二)分科、主查。(決三)分科審査。(決四)主查報告。(決五)委員總會。(決六)同主查報告及説明。(決七)同議決ノ方法。(決八)委員會報告、(決九)同決議案、上奏案。(決一〇)同印刷配付、會議。(決一一)決算會議ニ於テハ委員長ノ報告ヲ議題トス。

○國務大臣及政府委員

(憲五四、議四二)何時ニテモ議院ニテ發言スルヲ得、之カ爲議員ノ演說ヲ中止セス。(議四三)何時ニテモ委員會ニテ發言スルヲ得。(議四四)委員會ハ政府委員ノ説明ヲ求ムルヲ得。(議四五)議員タル者ノ外表決ノ數ニ入ラス。(議四九、五〇)質問ニ對スル大臣ノ答辯。(議五七)何時ニテモ協議會ニテ發言スルヲ得。(議七五)議院ハ大臣及政府委員トノミ照會往復スルヲ得。(議九〇)秩序ヲ紊ル者アルトキ議長ヘノ注意。(規六七)第一讀會ニ於ケル議案ノ辯明。(規八八)自席ニテ發言本。(規八九)議案辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲ヌヲ得。(規九十一)理由書又ハ報告書ノ朗讀。(規九十二)議事法規索引(國務大臣及政府委員)

○三 議事法規索引(質問、答辯)○上奏、奉答○建議
六五(討論終局後ノ發言ハ討論ヲ再開ス。

○質問、答辯

質問 (議四八)定數(三十人以上) 提出手續。(議四九)轉送、答辯。(議五〇)質問ノ件ニ付建議。(議九六)質問終局ノ動議(二十人以上) 上賛成。

答辯 (議四九)質問ニ對スル答辯。(議五〇)答辯ニ關シ質問ノ件ニ付建議。

○上奏、奉答

(憲四九) (議三一)ノ一)議案ノ上奏。(議五一)ノ一)上奏ノ手續。(議五二)上奏ノ動議(三十人以上) (令九)爭訟判決規則ハ上奏シテ裁可ヲ請フ。(令一〇)ノ二)除名ノ上奏。(規六四)上奏案發議ノ手續。(規一三五)上奏又ハ奉答ノ手續。(規一三五、一三六)議案奏上ノ例。(決九)決算委員會ハ違法又ハ不當ノ收支ニ付上奏案ヲ具ヘテ議長ニ報告ス。(資一二)議員無資格ノ上奏。(伯一六)ノ一)伯子男爵議員補闕上奏。(多二四)多額納稅者議員補闕上奏。

○建議

(憲四〇)。(議三五)議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス。(議五〇)質問ノ件ニ付建議ノ動議ヲ

爲スヲ得。(議五一)ノ二)建議ノ手續。(議五二)建議ノ動議(三十人以上)。(規六四)建議案發議ノ手續。(規一三四)建議書ハ總理大臣ニ呈出ス。

○請願

(憲五〇)議院ハ請願書ヲ受ク。(議三五)議決ニ至ラサルモノハ後會ニ繼續セス。(議六二、規一三九)議員ノ紹介。(議六三)審査委員、却下。(議六四、規一三五、一三六)ノ一)文書表、會議ノ要求(委員ノ特別報告又ハ)。(議六五)轉送、政府ニ對シ報告ノ要求。(議六六、六七、六八、六九、七〇)受理セサル請願。(議六八)請願書ハ哀願ノ禮式ヲ用ウ。(議七一)各議院ハ各別ニ請願ヲ受ク。(規七一)委員ノ數。(規一三七)請願書ノ書式。(規一三九)法人ノ請願書書式。(規一四〇)委員審査ノ順序。(規一四一)至急審査ノ請求。(規一三三)ノ二)請願書ノ印刷配付。(規一三四)委員ノ結果報告。(規一三五)特別報告。(規一三五)會議ニ付スルヲ要セストノ報告ニ對シ一週間内ニ討議ノ要求ナキトキハ確定ス。(規一三七)請願書ハ朗讀セス。

○議院ト人民及官廳地方議會トノ關係

(議七一)議院ハ告示ヲ發スルヲ得ス。(議七三)議院ハ召喚派出ヲ命スルヲ得ス。(議七四)政府ハ議事法規索引(請願)○議院ト人民及官廳地方議會トノ關係

審査ノ爲必要ナル報告又ハ文書ノ求ニ應ス。(議七五)議院ハ大臣及政府委員トノミ照會往復スルヲ得。

○資格審査

通則

(議八〇、資一三)被告議員ハ位列發言ノ權ヲ失ハス、表決ニ加ハリ及委員會ニ參スルヲ得ス。(令九)判決規則ハ上奏シテ裁可ヲ請フ。(規一三)委員ノ數。(規九〇)被告議員ハ辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(資一)常任委員ノ選舉。(資二)被告。(資三、四、五ノ一)訴狀。(資五ノ二)答辯書、辯駁書、再答辯書。(資六)原被告文書差出方、到達日數。(資七)政府ニ對シ證據文書ヲ要求スルヲ得。(資八)刑法ニ觸ルル事件ヲ發見シタルトキハ議長ハ司法大臣ニ通告ス。(資九)被告入答辯書ヲ差出ササルトキハ委員ハ直ニ結果ヲ報告ス。天災事變ノ證明アルトキ。(資一〇)審査報告ノ配付、院議。(資一一)判決、謄本ノ送達。(資一二)位列停止、奏上。(資一四)補闕議員出訴期限。(資一五)議員他ノ議員ノ資格ニ對シ異議ヲ申立ツルトキ。

出訴期限

(伯一八)伯子男爵議員。(多二六)多額納稅者議員。(資一四)補闕議員。

○懲罰

(議九四)。(議九五、規一七、一八)審査委員、宣告、委員會及部ニ於ケル懲罰事犯。(議九六)懲罰ノ種類。(議九八)懲罰ノ動議(二十人以上)。(令一〇)除名。(規一八)委員ノ數。(規九〇)被告議員ハ辯明ノ爲數回ノ發言ヲ爲スヲ得。(規一四)不敬又ハ無禮ニ涉ル辭表ハ懲罰委員ニ付ス。(規一六)會議ニ於テ懲罰事犯アルトキ。(規一七)委員會ニ於テ懲罰事犯アルトキ。(規一八)委員又ハ部員ハ懲罰ノ動議ヲ提出スルヲ得。(規一九)懲罰ノ動議ヲ委員ニ付託スルハ討論ヲ用キスシテ表決ニ付ス。(規二〇)懲罰事犯ノ議事ハ秘密會ヲ以テス。(規二一)議員ハ自己ノ懲罰事犯ノ會議ニ列スルヲ得ス。(規二二)委員ハ本人及關係議員ヲ召喚訊問スルヲ得。(規二三)議長ノ制止又ハ取消ノ命ニ從ハサル者ヲ懲罰委員ニ付スルヲ得。(規二四)謝辭。(規二五)一八〇)出席停止。(規一九、一八〇)除名。(規一八)宣告ハ公開議場ニ於テス。(規一八)懲罰事犯ト認ムル言論ノ公布ヲ禁スルヲ得。(協一六)協議會ニ於ケル懲罰事犯。

○紀律及警察

通則

(議一〇)。(議八五)。(議八六)警察官吏。(議八七)警戒、制止、發言ノ取消禁止及議員ノ退場。(議八八)會議ノ中止及散會。(議八九)傍聽人ニ退場ヲ命ス、警察官廳ニ引渡スヲ得。(議事法規索引(紀律及警察))

九〇)秩序ニ付大臣及政府委員ハ議長ノ注意ヲ促スヲ得。(議九一)不敬ノ語ヲ爲スヲ得ス。(議九二)無禮ノ語ヲ用井及他人ノ身上ニ涉リ言論スルヲ得ス。(議九三)議員ハ私ニ報復スルヲ得ス。(規一四四)議院内部ノ警察權。(規一四五)守衛ハ議院建物内、警察官吏ハ同建物外ノ警察ヲ爲ス。(規一四六)防火、點燈、掃除等ハ守衛監督ス。(規一四七)現行犯人ノ逮捕。(規一四八)議員ノ服裝。(規一四九)外套、傘、杖、帽子等。(規一五〇)吸烟。(規一五一)會議中新聞紙及書籍ヲ閱讀スルヲ得ス。(規一五二)發言(發言)發言ヲ爲シ及他人ノ演說則讀ヲ妨クルヲ得ス。(規一五三)號鈴。(規一五四)議長ハ秩序ノ問題ヲ決ス。

守衛 (規一四四)守衛ノ指揮。(規一四五)議院建物内ノ警察ヲ爲ス。(規一四六)防火、點燈、掃除等ヲ監督ス。(規一四七)現行犯人ヲ逮捕ス。(規一四八)傍聽席指示。(規一四五)傍聽人退場ノ命令ヲ執行ス。

警察官吏

(議八六、規一四四)警察官吏ノ派出及指揮。(規一四五)議院建物外ノ警察ヲ爲ス。(規一四七)現行犯人ヲ逮捕ス。

○傍聽

(議二三)常任及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁ス。(議三八)祕密會議ノ發議アルトキ直チニ傍聽人ノ退場ヲ命ス。(議五八)協議會ハ傍聽ヲ禁ス。(議八九)傍聽人ヲ退場セシメ及警察官廳ニ引渡スヲ得。(規一五五)傍聽席ノ區別。(規一五六)外交官傍聽券。(規一五七)官吏傍聽券。(規一五八)公衆傍聽券。(規一五九)空位アルニ依ル傍聽券ノ交付。(規一六〇)新聞社傍聽券。(規一六一)傍聽人心得。(規一六二)持兇器者酌酎者。(規一六三)傍聽人ハ議場ニ入ルヲ得ス。(規一六四)守衛ハ退場ノ命令ヲ執行ス。

○兩院協議會

(議五五)。(議五六)。(規一八五、一八六)委員選舉、成案、會議順序、成案ニ對シ修正スルヲ得ス、同上議事ハ三讀會ヲ經ルヲ要セス。(議五七)大臣、政府委員及議長ハ何時ニテモ出席發言スルヲ得。(議五八)傍聽ヲ禁ス。(議五九)表決ノ方法、議長ノ終決權。(議六〇)協議會ノ議長(互)ハ每會更代ス。(議六一、規一八八)協議會規程。(規一八九)報告委員ヲ互選スルヲ得。(協一)他院ニ對シ協議會ヲ開クノ要求。(協二)委員ノ數。(協三)會議ノ日時。(協四)協議室ニ於テ開ク。(協五)開議ノ定數(各三分ノ二以上)。(協六)甲院ノ出席委員乙院ノ出席委員ヨリ多キトキ表決方法。(協七)協議會

議事法規索引(兩院協議會)

議事法規索引(憲法、皇室典範改正)○内部整理規則○立法權
○緊急勅令

議長ノ職權。(協八)同討議ニ與ルトキハ副議長代理ス。(協九)委員ハ幾回ニテモ發言スルヲ得
(協一〇)動議(一人以)。(協一一)表決定數(過半)。(協一二)協議會副議長及假議長ノ選舉。(協
一三、一四)議事録、速記録。(協一五)同上ニ對シ異議アルトキハ協議會之ヲ決ス。(協一六)協議會
ニ於ケル懲罰事犯。

○憲法、皇室典範改正

(憲七三)。(憲七五)。

○内部整理規則

(憲五一)。

○立法權

(憲五)議會ノ協贊ヲ以テ行フ。

○緊急勅令

(憲八)。(憲七〇)。

大正七年十二月二十日印刷
大正七年十二月二十三日發行

(一六)

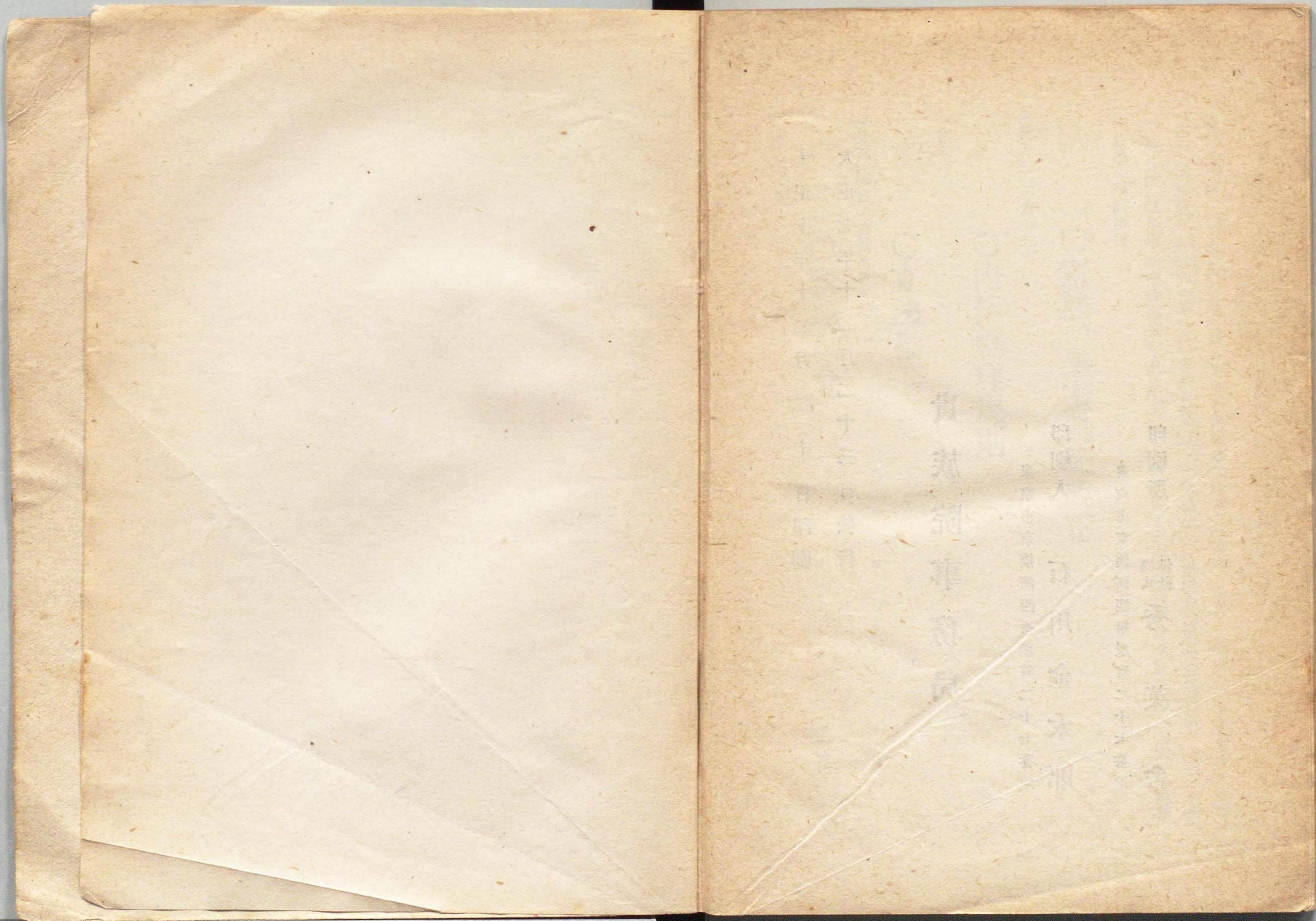
貴族院事務局

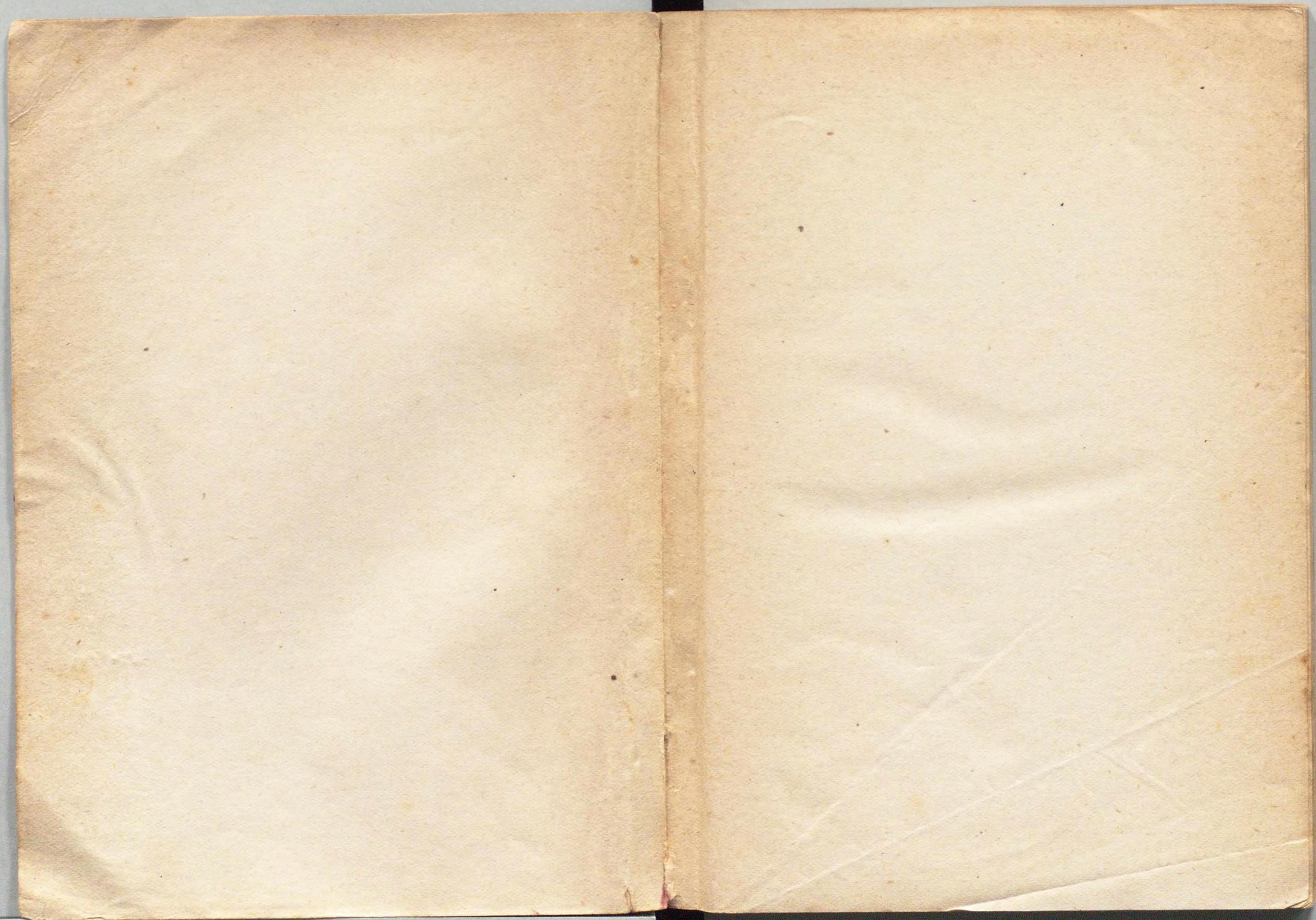
東京市京橋區西紺屋町二十七番地

印刷人 石川金太郎

東京市京橋區西紺屋町二十七番地

印刷所 株式 鑛社 秀英 舍





以
質